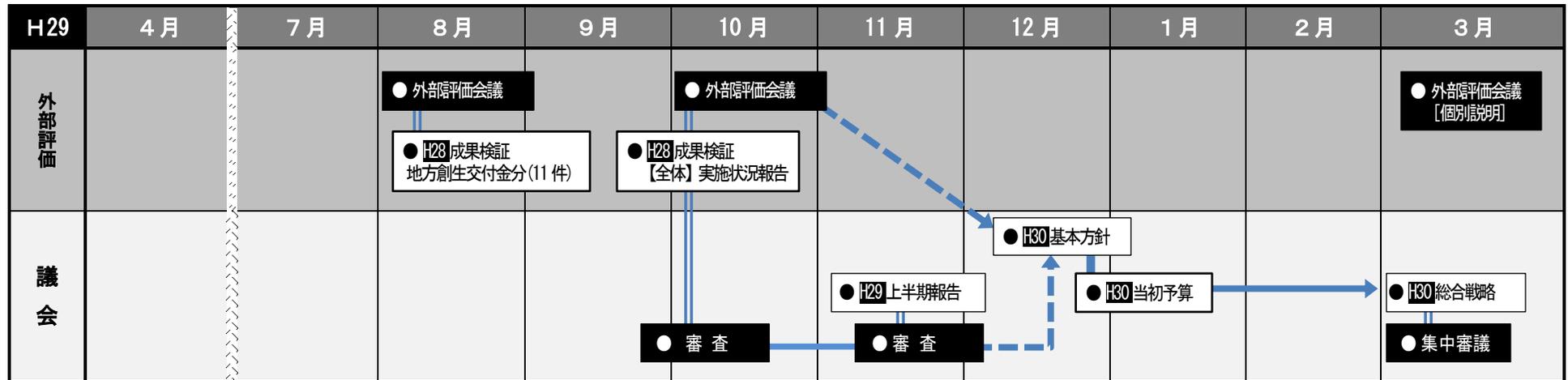
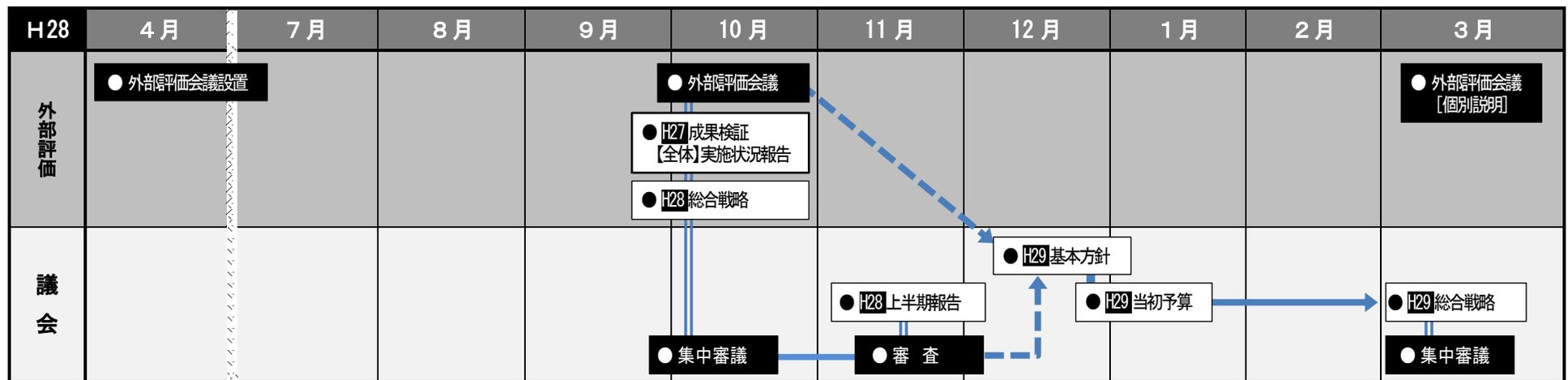


広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略の外部評価等スケジュール

平成 29 年 8 月 4 日 広島県経営企画チーム



【参考】昨年度（平成 28 年度）



これまでの主な取組と成果

平成29年8月4日

広島県経営企画チーム

目 次

人づくり

- 少子化対策 1
- 女性の活躍 2
- 働き方改革 2
- 人の集まりと定着 3
- 教育 4
- 多様な主体の社会参画 5

新たな経済成長

- 産業イノベーション 6
- 農林水産業 7
- 観光 8
- 交流・連携基盤 9

安心な暮らしづくり

- 医療・介護 10
- 健康 11
- 福祉 12
- 環境 13
- 防災・減災 14
- 消費生活 15
- 治安 16

豊かな地域づくり

- 魅力ある地域環境 17
- 瀬戸内 18
- 中山間地域 19
- 平和貢献 20

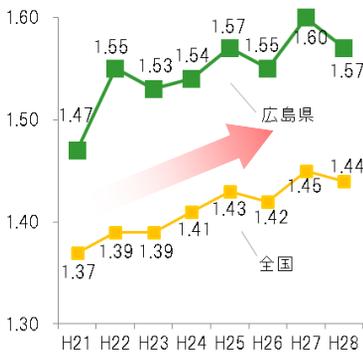
ポイント

子育てしやすい環境づくりに向け、保育環境の充実や子育てに関するサポート体制の強化など、企業、地域の方々と連携する中で、着実に進めています。

結婚を希望する人が出会い、結婚し、また、子供を希望する人が安心して妊娠・出産できる環境の整備に向けて、結婚から出産・子育て期を通した、切れ目ない支援を一層強化していきます。

主な指標等

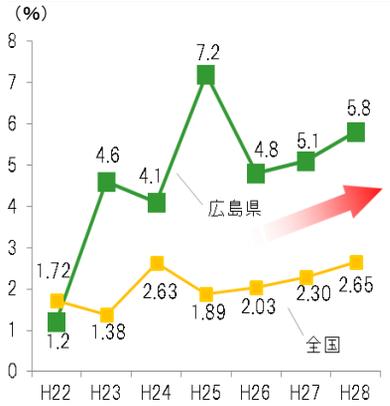
【合計特殊出生率】



【保育所等入所児童数】



【男性の育児休業取得率】



H21からH28にかけて、全国を上回って

上昇傾向

保育所等入所児童数は

着実に増加

H23以降、常に

全国平均 以上

主な実績

● 出会い・結婚を支援

➢ ひろしま出会いサポートセンター

会員登録数: **8,241**人 [H26.8~H29.3末]

➢ ひろしま出会いサポーターズ

(地域で結婚支援を行うボランティア団体): **26**団体 [H29.3末現在]

➢ こいのわカフェ(小規模な出会いイベント)

イベント回数**70**回, 参加者数**2,247**人, マッチング**340**組 [~H29.3末]

● 待機児童解消に向けた保育の充実

➢ 入所児童数:**6,054**人増 [H23.3: 59,918人 ⇒ H28.3: 65,972人]

➢ 保育所を探す母親の相談窓口**保育コンシェルジュ**の配置 [H25~]

➢ 保育士不足の解消に向けた**保育士人材バンク**の運営 [H24.7~]

求職登録人数:**1,778**人 就職数:**885**人 [H24.7~H29.3実績]

● 地域の子育てサポート体制の充実

➢ 「ひろしま版ネウボラ」モデル事業開始

[H29.6~ 福山市・尾道市]

➢ 子育てサービス登録店舗数: **6,396**店舗 [H29.3末現在]

[H22: 4,110店舗 ⇒ H28: 6,396店舗]



イクちゃん
サービス店舗

➢ 地域子育て支援拠点実施箇所数

: **+36** 箇所 [H22: 109箇所 ⇒ H27: 145箇所]

➢ 「子育てスマイルマンション認定制度」の創設 [H25]

県内金融機関と連携した住宅ローン金利優遇など

認定状況: **29**件, **1,873**戸の計画認定 [H29.8末現在]

02 女性の活躍

女性が能力を発揮する社会の実現を目指して、仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくりなど、多様なライフスタイルを可能にし、意欲的に働くことができる環境づくりに向けて取り組んでいます。

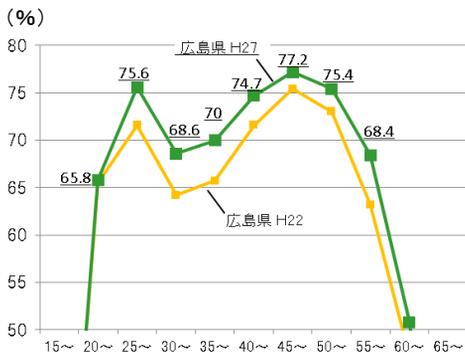
ポイント

関係指標は上昇傾向ですが、子育て世代の女性の就業率が落ち込む「M字カーブ」は依然として解消されていない状況です。男女とも家庭と仕事の両立ができるよう、より一層の取組を強化します。

また、多様な働き方と暮らしの充実が実感できる環境の実現を目指し、取組を推進します。

主な指標等

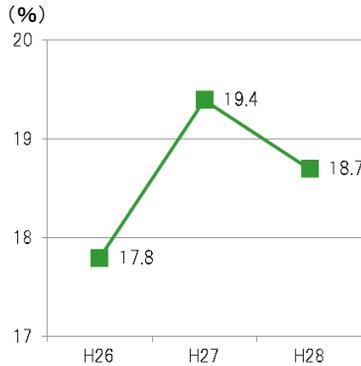
【年齢別(5歳階級)女性の就業率】



H22からH27にかけて、女性の就業率は、

増加基調

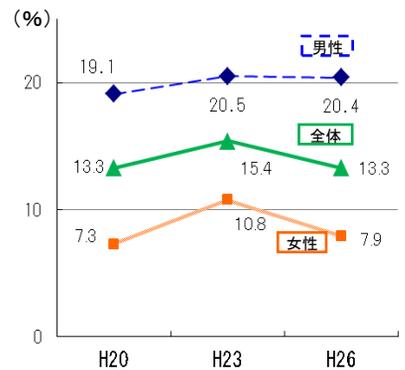
【事業所における指導的立場に占める女性の割合】



H26からH28にかけて、事業所における指導的立場に占める女性の割合は、

0.9%増加

【社会全体における男女の地位が平等だと感じる人の割合】



H20からH26にかけて、社会全体における男女の地位が平等だと感じる人の割合は、

横ばい

主な実績

● 女性の活躍促進への取組支援

- 女性の就業継続と活躍を後押しする

「働く女性の就業継続応援事業」を実施 [H24~]

- 「働き方改革」及び「女性の活躍促進」を一体的・効果的に推進するため、「働く女性応援隊ひろしま」を発展改組し、

「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」

を発足し、経済団体・労働団体・行政機関などの関係機関が一丸となって、企業の取組の促進や県内の機運の醸成 [H28.10]

- 企業内の女性活躍を進める

「女性活躍推進アドバイザー」を養成し、女性活躍推進

部署の設置を促進 [H27~]

- 再就職を希望する女性を支援する

「わーくわくママサポートコーナー」を運営し、きめ細やかな

相談対応を実施[広島・H24.3~、福山・H27.1~] H28就職者数 **381**人

● 男女共同参画の推進

- 県の男女共同参画の推進に関する施策の推進を図るため「広島県男女共同参画基本計画(第4次)」を策定 [H28.3]

● 働き方改革の推進

- 誰もが働きやすい職場づくりを目指すため

「イクボス同盟ひろしま」に進化発展し、働き方の見直しを促すための活動を推進 [H27.12] 参加人数 **122**人 [H29.5]

- 「イクボス宣言」の広がり

・ファザーリング・ジャパン代表理事 安藤哲也氏立合いのもと、都道府県知事初の「イクボス宣言」[H27.1]

・海上自衛隊呉地方総監 [H27.3, H28.10]

・広島県警察本部長 [H27.5, H28.7]

・商工会議所連合会(13会議所)会頭 [H28.6]

・広島県保育連盟連合会会長 [H29.2]

・(公財)広島県私立幼稚園連盟理事長 [H29.5]

全国初

ポイント

東京圏で高まりつつある地方移住の機運を取り込み、広島県の魅力にひかれ国内外から人が集まるとともに、広島県で育った人が県内に定着できるよう環境の整備を進めています。

人口流出の主な要因である、若者(15歳~24歳)の転出入の状況は、県外への転出超過が続いていますが、引き続き、県内外からの県内大学入学者確保や、新卒大学生のUIJターン就職の促進などの対策を進めていきます。

主な指標等

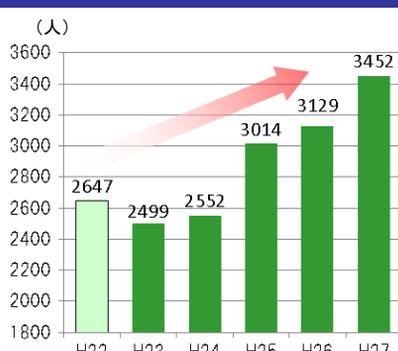
【社会動態】



国勢調査ベースでの社会動態は、

40年ぶりの社会増加

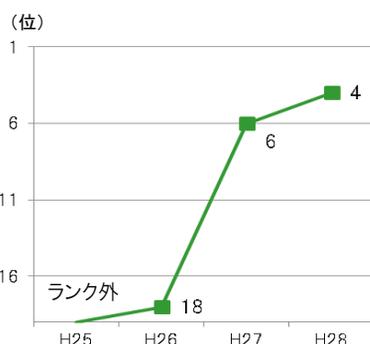
【県内大学等の外国人留学生数】



H22から6年間で、外国人留学生数は、

805人増

【ふるさと回帰支援センター(東京) 移住希望地域ランキング】



移住希望地域ランキングは、

4位へ上昇

主な実績

● 県内高等教育機関の魅力向上

➤ 県内大学の魅力の情報発信 [H24~]

大学ガイドブックの作成・配布や大学情報説明会の開催など、効果的に大学の魅力を発信

➤ 県内全大学共用のサテライトキャンパスの開設 [H25.4]

● 東京圏等から広島への定住促進

➤ 東京圏における定住相談窓口の設置 [H26~]

➤ 認定NPO法人ふるさと回帰支援センターによる

移住希望地域ランキング2016 4位

➤ 相談窓口における相談件数 **4,453件**[H26~H28]➤ 移住実績 **89世帯** [H26~H28]

● 外国人留学生の受入の強化

➤ 広島県留学生活躍支援センターの開設 [H23.4]

大学等と連携し、受入から地域生活、就職までを一貫サポート

企業説明会参加県内企業数：**449社** [H23~H28]

県内企業インターンシップ参加留学生数：**368人**[H23~H28]

● 新卒大学生のUIJターン就職の促進

➤ 就活応援サイト「Go!ひろしま」の開設 [H27.10~]

最新の新卒大学生向けの求人情報を始め、県内企業情報や広島で働き、暮らす魅力などをワンストップで発信

➤ 県外大学との就職支援協定締結

14大学・短大 [H24~]

➤ 1・2年生対象サマーワークショップの開催

企業訪問、先輩社会人との交流などによるUIJターン就職意識の醸成
参加学生：**50人**[H28]

ポイント

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正を受けて、新たに策定した「広島県 教育に関する大綱」に基づき、幼児期から大学・社会人までを見据え、学校・家庭・地域、さらには経済界や産業界も含めたオール広島県で、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造することのできる人材を育成していくため、本県の先進性や特色を生かした教育を積極的に推進していきます。

主な指標等

【小中学校の学力】

全国学力・学習状況調査結果

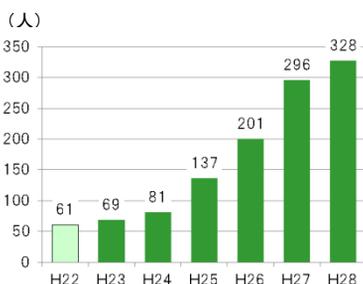
(平均正答率：%)

区分	H22	H24	H25	H26	H27	H28
小学6年 県 (トップ県との差)	73.9 (△5.2)	69.4 (△4.0)	64.8 (△5.4)	68.8 (△5.2)	67.0 (△4.3)	67.0 (△2.3)
中学3年 県 (トップ県との差)	62.5 (△6.4)	62.8 (△5.8)	63.6 (△4.6)	65.0 (△5.0)	62.7 (△4.3)	62.9 (△4.1)

※H23は東日本大震災により実施していない。
※H22、H24は抽出調査

【留学者数】

高等学校段階での留学経験者数



【小中学校の体力】

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

(体力合計点)

区分	H22	H24	H25	H26	H27	H28
小学5年 男子 トップ県との差	55.10 (△3.20)	55.29 (△3.38)	55.53 (△2.21)	55.90 (△1.97)	55.95 (△1.79)	56.29 (△1.25)
小学5年 女子 トップ県との差	55.82 (△4.14)	56.27 (△3.68)	56.59 (△2.76)	57.14 (△2.30)	57.38 (△2.51)	57.99 (△1.46)
中学2年 男子 トップ県との差	42.34 (△3.60)	42.70 (△3.30)	43.31 (△2.38)	43.49 (△2.34)	43.67 (△1.81)	43.66 (△1.94)
中学2年 女子 トップ県との差	48.85 (△4.14)	49.56 (△4.61)	50.13 (△2.87)	50.45 (△2.69)	50.91 (△2.81)	51.44 (△2.50)

※H23は東日本大震災により実施していない。

全国トップ県との差は、

縮小

H22と比較して、留学経験者数は、

約5倍

全国トップ県との差は、

縮小

主な実績

● 「主体的な学び」を促す教育活動

(広島版「学びの変革」アクション・プランの推進)

- 課題発見・解決学習の推進 [H27～]
「主体的な学び」を促進するため、総合的な学習の時間をはじめ、各教科等の学習において、「課題発見・解決学習」を推進
- 異文化間協働活動の推進 [H27～]
グローバル・マインドや実践的なコミュニケーション能力の育成に向け、小学校段階からの系統的な「異文化間協働活動」を推進

● 地域ぐるみの子供たちの健全育成

- 「山・海・島」体験活動
“ひろしま全県展開プロジェクト”を推進 [H25～]
全公立小学校で3泊4日の長期集団宿泊活動の実施を目指す
- 「ひろしま給食100万食プロジェクト」を推進
学校、家庭、地域が一体となった新たな食育対策 [H25～]

● 更なる教育環境の充実

- 広島県・広島市が共同で整備する、従来の定時制・通信制課程の枠組みに捉われない「**広島みらい創生高等学校**」の開校準備
- 「学びの変革」を先導的に実践する併設型中高一貫教育校「**グローバルリーダー育成校**(仮称)」の基本構想を策定 [H27]
- 「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランの策定 [H29.2]
全県的な乳幼児期の教育・保育の質の向上に向け、今後の県施策の方向性を具体化
- 大学連携による新たな教育プログラム^(13本)の開発・実施
複数大学が産業界と連携したグローバル人材等の育成など、教育の質の向上 [H23～]
- 県立広島大学に**経営専門職大学院(MBA)**を開設 [H28.4]

● 体力・運動能力の向上

- 全公立小中等学校で、「**体力づくり改善計画**」を策定 [H24～]
全国体力・運動能力調査の結果等を踏まえ、各校で課題解消に向けた計画を策定

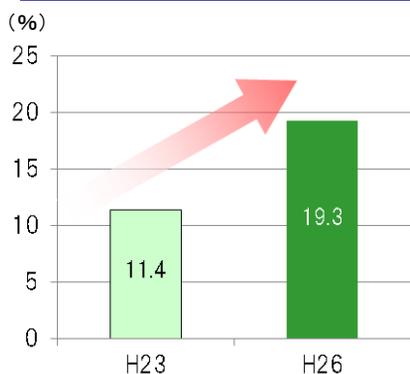
ポイント

県民が人権尊重の意識を高め、互いに人として尊重し合う社会づくりを進めるとともに、高齢者が社会参画できる環境づくりや、障害者の雇用・就労の促進など、年齢や障害の有無等にかかわらず、全ての県民が活躍できる環境の整備に取り組んでいます。

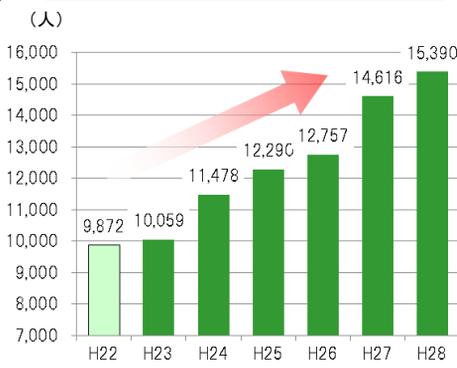
また、地域社会の活性化に向け、行政だけでなく企業やNPO、地域住民など多様な主体が相互に連携して活動できる環境の整備や行政との「協働」を推進する仕組みづくりを引き続き進めていきます。

主な指標等

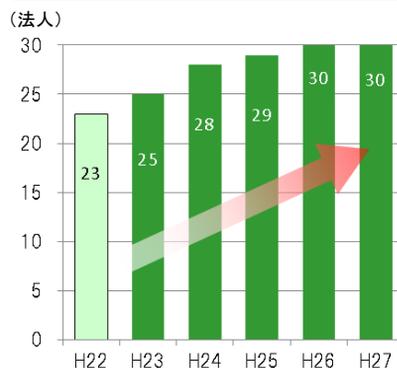
【65歳以上の社会活動参加率】



【雇用されている障害者実人数】



【県内の人口10万人当たりのNPO法人数】



H23と比較してH26の社会活動参加率は、

7.9%増加

H22から6年間で、
雇用されている障害者実人数は、

5,518人増

H22からH27にかけて、

着実に増加

主な実績

● 人権施策の推進

- 人権尊重の理念を普及し理解されるよう、

スポーツチームと連携した

啓発事業を実施 [H22~]



● 障害者の雇用・就労

- **障害者就職面接会**の開催

参加企業数: **1,236社**, 参加求職者数: **4,719人**,

内定者数: **803人** [H22~H28]

県内企業の障害者実雇用率: **1.83%**[H22] ⇒ **1.99%** [H28]

- **ひろしま障害者雇用ビジネスモデル**の策定 [H26.12]

● 多様な主体の活躍・協働促進

- 社会的課題の解決に取り組む優れた活動を表彰する「**県民活動表彰**」を創設するとともに、NPOに対する県民の理解・参加を促進するため、「**NPO等の事例発表会**」等を開催 [H23~]
- **14の企業・大学と包括連携協定**を締結 [H21.10~] 協定締結企業と連携し、
・「瀬戸内ブランド」商品など、県産食材を活用した商品の企画・販売
・「2016ひろしま総文」とのコラボ商品の開発・販売、PRイベントの開催など、本業の強みを生かした取組や、社会・地域貢献への取組を実施

● 高齢者の社会参画の推進

- 高齢者が地域で活躍できるよう、**プラチナ大学(広島県健康福祉大学校)**を開校運営 [H24~]
- ひろしましごと館において、**高齢者の就業相談**を実施 窓口相談等による高齢者の新規就業者数**574人** [H22~H28]

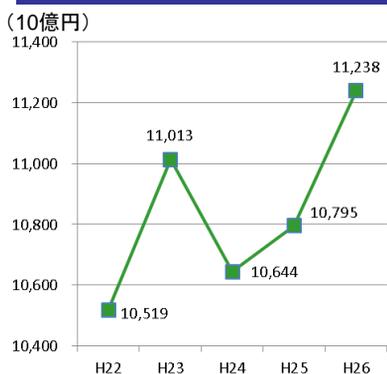
ポイント

新しい産業が生まれ育ち、社会経済情勢や市場の動向に、柔軟かつ的確に対応できる「イノベーション立県」の実現に向けて取組を進めています。

関連指標は改善傾向にあります。県内企業の更なる競争力向上のため、成長産業の育成、イノベーションの原動力となる人材の育成・集積など、県内企業のイノベティブな取組を促進する環境整備に向けた取組を一層強化していきます。

主な指標等

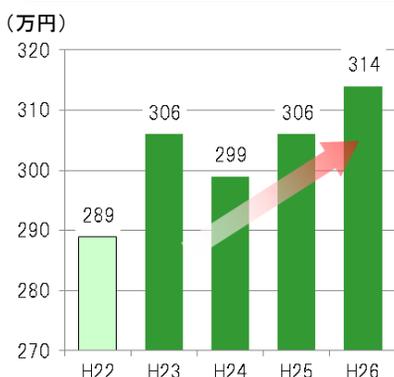
【県内総生産】



対前年県内総生産増加率 (H25→H26)

4.1% 全国1位

【1人あたり県民所得】

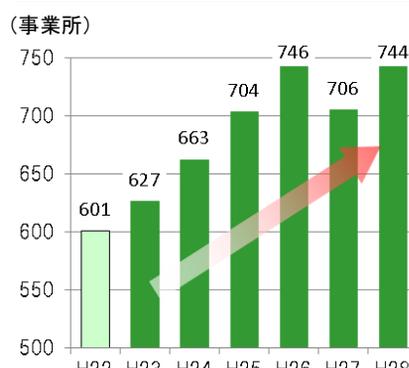


H22と比較して、**25万円増**

※ 対前年県民所得増加率 (H25→H26)

2.6% 全国1位

【県内企業の海外事業所数】



H22からH28にかけて、

着実に増加

主な実績

● イノベーション・エコシステムの構築

- ひろしまイノベーション・ハブ延べ参加人数: **4,129人** [H25~H28]
- 「イノベーション・ハブ・ひろしまCamps」設置 [H29.3]

● 創業・新事業展開の徹底支援

- ひろしま創業サポートセンター創業実績: **1,398件** [H25~H28]
- オール広島創業支援サミットの開催 [H27.12]

● 多様な投資誘致の促進

- 立地件数: **260件**, 新規雇用: **4,492人** [H22~H28]

● ものづくり技術の高度化

- ひろしま航空機産業振興協議会の設置 [H26]
123社・26支援機関が参画 [H29.4現在]
- ひろしま感性イノベーション推進協議会の設置 [H26]
102社・37機関が参画 [H29.4現在]

● 成長産業の育成支援

【医療関連】

- 医療機器等生産額 (H28): **200**億円 [対前年+40億円]
- 医療機器等製造企業数 (H28): **54**社 [対前年+4社]

【環境関連】

- 環境関連産業の売上高 (H27): **1,162**億円 [対前年+50億円]

● 高度人材の育成・集積

- **広島県プロフェッショナル人材戦略拠点**によるマッチング件数: **172**件 [H27~H28]
- 社員を大学院等へ派遣する企業向け補助金の創設 [H23]
利用件数: **124**件 [H23~H28]
- 大学院等へ進学する個人向け貸付制度の創設 [H24]
利用件数: **69**件 [H24~H28]

● 海外ビジネスの拡大

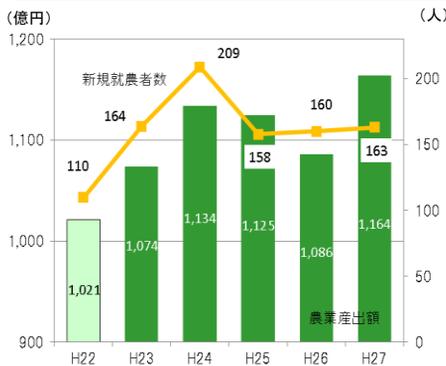
- マレーシア・香港・成都・上海における食品分野商品定番化件数 **308**品目 [H24~H28]

ポイント

2020年の産出額目標を、農業分野で1,200億円、水産業分野で290億円とするなど、アクションプログラムを策定し、経営力の高い担い手等の育成を支援するとともに、収益性の高い園芸作物への転換や、レモン、かき等市場のニーズが高い製品の販売拡大等を通じて、自立可能な農林水産業の実現に向けた取組を進めています。

主な指標等

【農業産出額・新規就農者数】



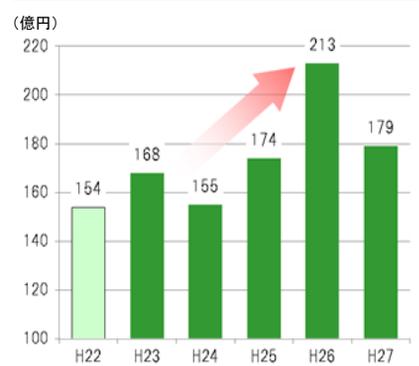
H22と比較して、農業産出額は、
143億円増

【レモン生産額】



H22と比較して、広島レモン生産額は、
10.5億円増

【かき養殖生産額】



広島かき養殖生産額はH22以降
増加基調

主な実績

● 経営力の高い担い手を育成・支援

- 新規就農者数: **964人** [H22~H27]
- 担い手経営面積: **+2,173ha**増 [H22: 10,107ha ⇒ H28: 12,280ha]
農業法人の育成、大規模農業団地の形成、施設設備に向けた支援等
- 農業経営体の発展段階に応じた研修の実施

ひろしま農業経営者学校

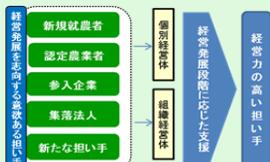
研修修了者: **延べ395人** [H23~H28]

県立広島大学MBAにおける

農業ビジネスの経営人材の育成 [H28~]

- 経営発展志向のある担い手を

重点的に支援 [H26~]



ひろしま農業経営者学校

● 農林水産物の生産販売を支援

- 生産者の販路拡大を応援する

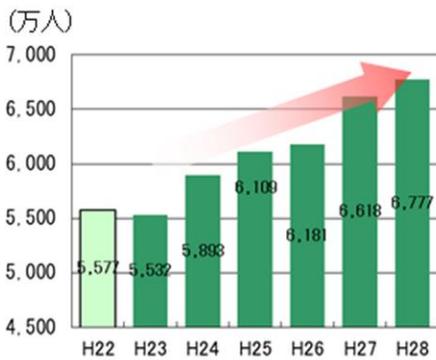
広島県産応援登録制度 登録商品: **延べ272商品** [H26~H28]
商談会の開催によるマッチング等の販売力強化
- 実用化に向けた**戦略的な研究**の実施
レモンの周年供給に向けた**貯蔵技術**の確立 [H27実用化]
生食用殻付かきの安定生産に向けた**養殖技術**の開発 [H27~]
- 県産材の需要拡大に向けた
県産材利用協定を住宅メーカー**81社**と締結 [H27~H28]
 原木**40,500m³**を住宅へ利用 [H28]
- TPPが発効した場合の影響を考慮し、
 中晩柑等から**レモン**への早期転換に向けた**高接更新**の支援や
受精卵移植による**和牛子牛の増頭**を支援 [H28~]

ポイント

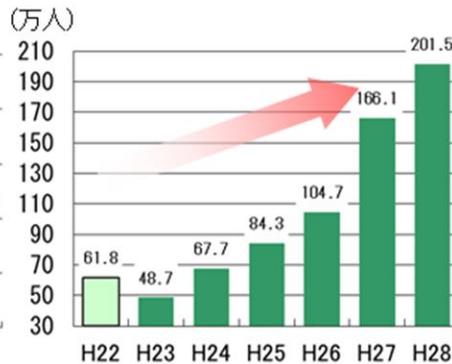
「ひろしまブランド」や「瀬戸内ブランド」が確立され、国内外から訪れる多くの人々に感動と癒しを与えるとともに、県民にとっても世界に誇れる観光地となるよう取組を進めています。また、観光振興の目的は地域経済の活性化であることから、観光消費額を増加させるため、引き続き、観光客数及び観光消費額単価の増加に向けた取組を実施します。

主な指標等

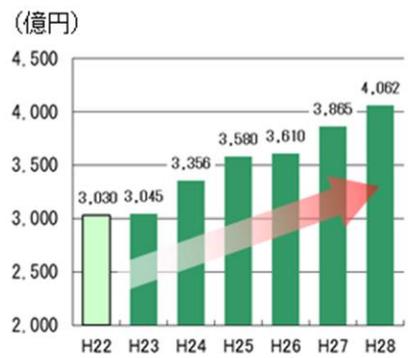
【総観光客数】



【外国人観光客数】



【観光消費額】



総観光客数は、平成24年から連続で

過去最高を更新

外国人観光客数は、平成24年から連続で

過去最高を更新

観光消費額は、平成22年から連続で

過去最高を更新

主な実績

● 情報発信の強化

- 観光地「ひろしまブランド」コンセプト「瀬戸内ひろしま、宝しま」の策定、PR [H23～]
- 観光プロモーションの実施
 - 「おいしい！広島県」キャンペーン [H24.3～H26.7]
 - 「泣ける！広島県」キャンペーン [H26.7～H27.6]
 - 「カンパイ！広島県」キャンペーン [H27.6～]



- ・メディア露出：**71億**円以上(広告換算額)
- ・WEBサイトPV数：**2,471万**件以上
- ・観光HPアクセス数：209万件[H23] ⇒ **366万**件 [H28]
- ・関東からの観光客が、大幅に増加：507万人[H23] ⇒ **630万**万人 [H28]

かんぱい! 広島県
((▽)^(▽)^(▽))

● おもてなしの充実

- 広島県「みんなで」おもてなし宣言 [H26.8～]
18,056人, 679企業・団体等 [H29.6現在]
- 観光地ひろしま！おもてなし県民運動シンボルマークの決定等[H26.8～]
- おもてなし優良事例表彰 [H25～H27]
観光地ひろしま！おもてなしアワード：表彰**16**件



● 国際観光の推進

- 国別外国人観光客数
 - 米国** : 93千人[H22] ⇒ **266**千人[H28]
 - 豪州** : 60千人[H22] ⇒ **176**千人[H28]
 - フランス** : 52千人[H22] ⇒ **120**千人[H28]
 - 台湾** : 19千人[H22] ⇒ **209**千人[H28]
 - 中国** : 42千人[H22] ⇒ **154**千人[H28]
 - タイ** : 6千人[H22] ⇒ **30**千人[H27]

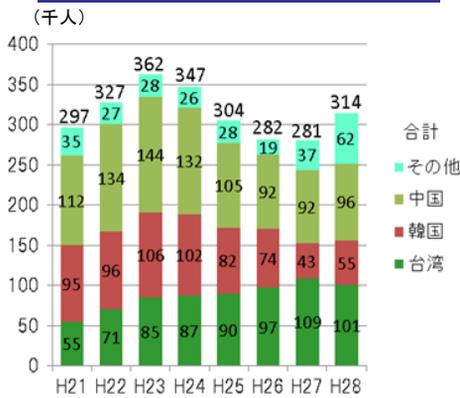
ポイント

中四国地方における拠点空港である広島空港や、国際海上コンテナ輸送網の拠点である広島港、福山港等のグローバルゲートウェイ機能の強化に取り組むとともに、産業活動や、県内外の連携、地域間交流を支える基盤整備を進めてきました。

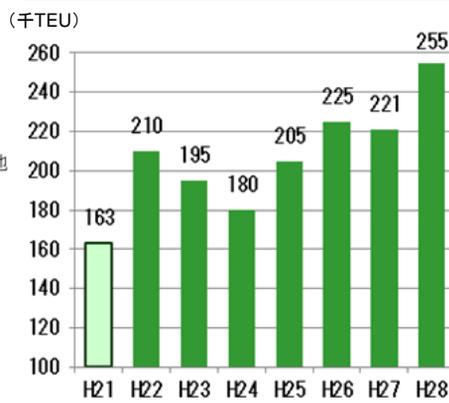
引き続き、グローバル化に対応した広域的なネットワークの強化などに取り組めます。

主な指標等

【広島空港国際旅客数】



【広島港貨物コンテナ取扱量】



【広域交通ネットワークの確立】



広島空港国際旅客数が、

3年ぶりに30万人突破

H21以降、広島港貨物コンテナ取扱量は、

約92千TEU 増

着実に企業進出と雇用者数が増える尾道松江線沿線地域

主な実績

● 広島空港の拠点性強化

➢ **5路線27便/週** [H28]

● 広島港の物流拠点機能の強化

➢ 宇品地区の**岸壁増深・耐震化** [H27~]

➢ 廿日市地区の**大型LNG船ターミナル供用開始** [H28.1]

➢ 廿日市草津線(4車線化)第1期供用開始 [H29.2]

● 福山港の物流拠点機能の強化

➢ **台湾・東南アジア航路開設** [H26~]

➢ **韓国航路増便** [H26 ~]

➢ **小口混載サービス開始** [H27.4~]

● 広域道路ネットワークの拡充

➢ **広島市2時間交通圏** 545万人 [H23]→**555万人** [H27]

➢ **県内80分交通圏** 266万人 [H23]→**268万人** [H27]

➢ **高速道路IC20分交通圏** 253万人 [H23]→**276万人** [H27]

➢ **広島空港2時間交通圏** 633万人 [H23]→**644万人** [H27]

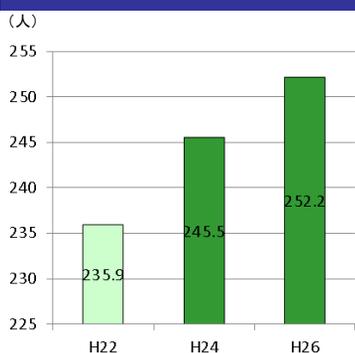
ポイント

県内のどこに住んでいても、安心できる医療・介護サービスを受けられることを目指し、医療・介護の人材確保や拠点整備、地域包括ケア体制の構築等、幅広い取組を行っています。

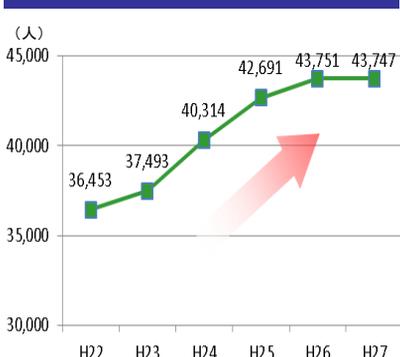
今後急増する医療・介護需要に的確に対応していくため、それぞれの地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携を進めるとともに、切れ目ないサービス提供体制の充実強化を推進していきます。

主な指標等

【県内医師数(10万人対)】



【県内介護従事者数】



【認知症サポーター養成数】



H22からH26にかけて、医師数は、

着実に増加

H22からH27の5年間で、
介護従事者数が、

約20%増加

H22から6年間で、サポーター数は、

125,329人の増

主な実績

● 県内医療体制の充実

- 「**広島県地域医療構想**」の策定 [H28.3]
地域における病床の機能の分化及び連携を推進するための将来の医療提供体制に関する構想の策定
- **広島県地域医療支援センター**の設置・運営 [H23.7~]
医師不足解消に向けた医師のあっせん、確保、配置調整
- **ひろしま医療情報ネットワーク** [H25.4~]
医療情報共有化で重複検査等解消 参加施設数 687施設[H29.3]
- **認知症疾患医療センター**の設置 [H22~]
認知症に関する専門医療医相談や、鑑別診断等を行うセンターを二次保健医療圏ごとに設置

● ドクターヘリの運用の開始

- 救えなかった命を救う救急医療体制の構築 [H25.5~]

出動件数
1,582件
(H25.5~H29.4)

● 地域包括ケア体制の構築

- 市町の取組を広域的、専門的に支援する**地域包括ケア推進センター**を設置し、医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の全県展開を推進 [H24~]

● 介護人材の確保・育成・定着

- **福祉・介護人材確保等総合支援協議会**の運営 [H24~]
イメージ向上、人材不足解消に向けた取組、魅力ある職場支援
- 介護福祉士等養成に向け、**修学資金貸付制度**の運用
貸与者数：**1,103人** [H22~H28]
- 「**ケアマネマイスター広島**」認定制度の創設 [H24]
優秀な介護支援専門員の顕彰制度 認定者数：**18名** [H24~H28]

● 医師・看護職員の確保

【医師】

- 奨学金制度等による地域医療に従事する**医師の養成：155人** [H22~H28]
- 広島大、岡山大医学部での**寄附講座の開設** [広島：H22、岡山：H25]

【看護職員】

- 看護師等の養成(卒後県内就業者数)：**7,445人** [H22~H27]
- ナースバンクを通じた再就職者数：**4,483人** [H22~H28]

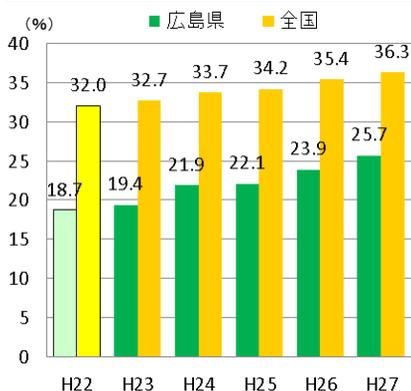
ポイント

健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の予防と早期発見・重症化予防をはじめ、こころの健康の維持・増進や総合的ながん対策等に取り組んでいます。

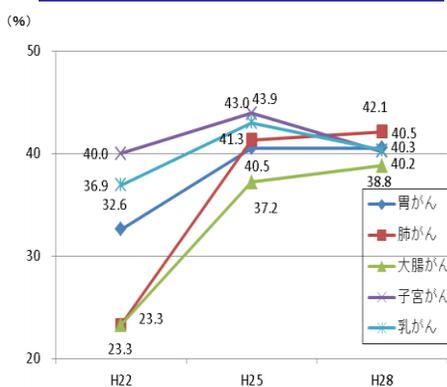
レセプトデータ等の分析結果を活用した保健指導等による生活習慣病予防を推進するとともに、「がん対策日本一」を目指し、県民総ぐるみのがん対策を推進します。

主な指標等

【特定健康診査受診率】



【がん検診受診率(国民生活基礎調査)】



【1人当たり医療費】



H22からH27にかけて、市町国保特定健康診査受診率は、

着実に増加

H22と比較して、すべてのがん検診において、

受診率上昇

H22からH27にかけて、1人当たり医療費は、

年々増加

主な実績

● 健康増進の推進

- ひろしま健康づくり県民運動推進会議 [H20~]
ひろしまウオーキングBookの利用促進、季節のレシピ作成等
- 口腔保健支援センターの設置 [H24.3]
歯と口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発、情報提供等
- 減塩サミットin広島2014の共催 [H26.5 参加者数16,700人]
広島県食育推進計画における重点目標の一つ「食塩摂取量の減少」の推進
- ひろしまヘルスケアポイントの開始 [H29.3]
県民自らが行う健康づくりに向けた取組を支援
- 職域出前講座推進事業等による禁煙・受動喫煙防止の普及啓発

● こころの健康対策の推進

- いのちのサポーター等による啓発
県内の自殺者数 [H22:607人 → H28:430人(概数)]

● がん対策日本一の取組

- がんて死亡する県民の減少
75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)
[H22:79.9人(全国13位) → H27:72.0人(7位)]
- 広島がん高精度放射線治療センターの整備 [H27.10開設]
- 「Teamがん対策ひろしま」登録開始
総合的ながん対策に積極的に取り組む企業を登録
[H26~H28:37社]
- 「がんよろず相談医」の養成 [H24~H28:765人]
- 5大がん医療ネットワークの構築 [H24]
患者一人ひとりに最適な医療を提供する連携システム
(5大がん:乳, 肺, 肝, 胃, 大腸)

● 疾病予防の充実

- 感染症・疾病管理センターの開設 [H25.4]
県民、関係機関に対する感染症情報の提供

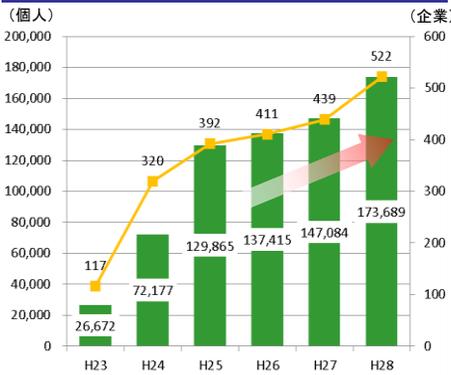
ポイント

高齢者、障害者、子供など、支援を必要とする人が地域で安心して生活できるよう、市民の理解促進や地域で支える体制づくりを推進しています。

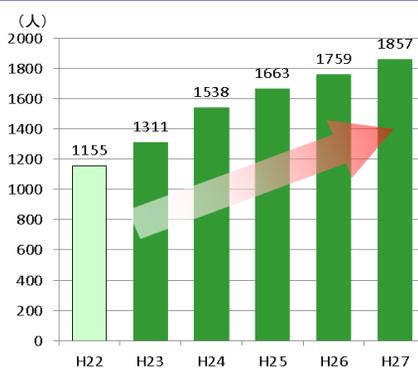
高齢者の生活支援、障害特性に応じた専門的な医療提供体制の整備、ひとり親家庭の自立支援等、地域で暮らしやすい環境の整備を進めていきます。

主な指標等

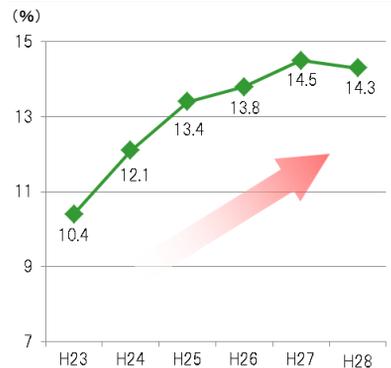
【あいサポート運動サポート企業数等】



【障害者のグループホーム・ケアホーム利用者数】



【社会的養護の必要な児童の里親委託率】



H23から5年間で、サポート企業、個人数(累計)は、

173,689の増
※鳥取県と連携

H22から5年間で、利用者数は、

702人の増

H23から5年間で、里親委託率は、

3.9ポイントの増

主な実績

● 障害者の生活サポートの強化

- 県立障害者リハビリテーションセンターの整備 [H27供用]
- 県立福山若草園の整備 [H27供用]
県東部の重症心身障害児(者)、肢体不自由児等のサポート機能の強化
- 聴覚障害者センターの整備 [H28供用]
聴覚障害者の情報・意思疎通支援の拠点施設



県立福山若草園

● 支援が必要な人を地域で支える仕組みの充実

- 思いやり駐車場制度の創設 [H23.7]
商業店舗等と連携し、障害者、妊婦等をサポート



思いやり駐車場制度

● 社会的養護の必要な児童への支援体制の充実

- 相談対応機関の強化
こども家庭センターへの警察官OBの配置(警察との連携強化) [H25]
常勤弁護士の配置 [H26]
- 施設における小規模グループケアの推進
施設入所児童のうち小規模グループケアで生活する児童の割合21.1%(H28年度末)
- 県立広島学園の整備 [H27.4]
学校教育導入による教育と福祉の連携強化
- 退所児童アフターケア事業所の開設 [H28.2]
児童養護施設等と連携した退所児童のアフターケア

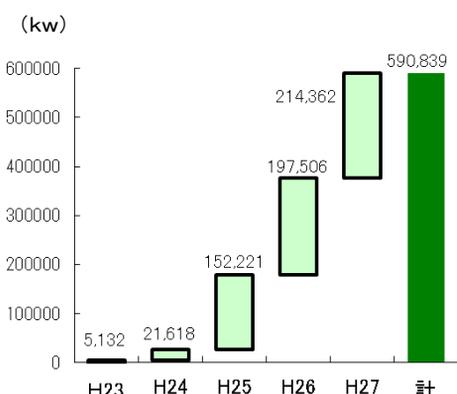
ポイント

平成28年3月に「第4次環境基本計画」を策定し、環境への負荷の少ない持続可能な社会の仕組みの構築に取り組んでいます。

低炭素社会の構築や循環型社会の実現、生物多様性の保全などに加え、環境負荷の少ない社会を支える「人づくり・仕組みづくり」に向け、再生可能エネルギーの普及促進や地域の多様な主体による環境保全活動の推進、自然公園の利用促進などに取り組んでいます。

主な指標等

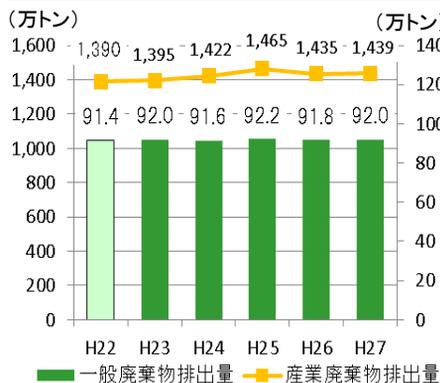
【太陽光発電の設置規模(業務用)】



H23から4年間の設置規模は、

+590,839 kw

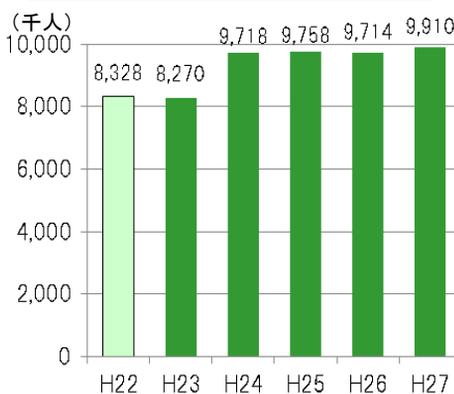
【一般廃棄物、産業廃棄物排出量】



H23からH27にかけて、

一般廃棄物排出量は、**横ばい**
産業廃棄物排出量は、**横ばい**

【自然公園の利用者数】



自然公園の利用者数はH22以降

増加基調

主な実績

● 低炭素社会の構築

➢ 再生可能エネルギーの普及促進

県有地等に**10MW**程度の太陽光発電の導入を推進 [H24~]

売電収益を活用し、省エネ設備の導入や地域の省エネ活動を支援

【H27: 7施設5団体, H28: 7施設6団体】

ダムを活用した小水力発電の実施 [H25~]

県有施設に太陽光発電の設置を推進【115kw, 2施設】 [H26~]



メガソーラー発電

➢ 県庁内の取組を推進

低公害車両の積極的導入(電気自動車15台, クリーンディーゼル車5台), 電気自動車の急速充電設備を設置(1台)

➢ 公共施設等への導入促進

防災拠点となる県, 市町への再生可能エネルギー等設備の導入【756.3kw, 39施設】 [H26~H28]

● 生物多様性の保全

➢ 「未来へつなげ命の環! 広島プラン~生物多様性広島戦略」の策定 [H25.3]

● 循環型社会の実現

➢ 産業廃棄物埋立税の活用

廃棄物の排出抑制, リサイクル産業の活性化
廃棄物の適正処理の推進 等

➢ 公共関与による廃棄物処分場の確保

広島港出島地区廃棄物等埋立処分場の受入開始[H26.6~]

● 地域環境の保全

➢ 広域的な大気環境汚染への対応

広島県ホームページによる, PM2.5等の測定結果や発令情報のリアルタイムな公表と注意喚起メールの配信 [H26~]

【登録者約600人(PM2.5)H29.4.1現在】

● 人づくり・仕組みづくり

➢ 夏季の省エネ対策として, 県市町施設や商業施設と連携した

ひろしまクールシェアを開始

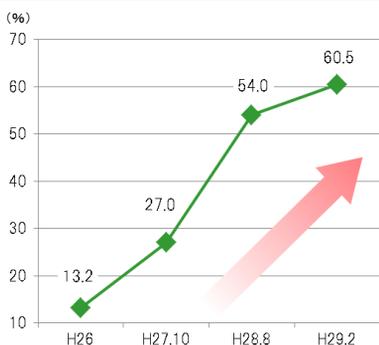
実施施設数 **622**(H28実績) [H24~]

ポイント

東日本大震災や多発する集中豪雨等による自然災害を踏まえ、想定される被害を軽減させるため、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を展開するとともに、防災拠点施設の耐震化、道路等の公共インフラの機能強化等を進めています。さらに、平成26年8月の広島市における土砂災害も踏まえ、減災の実現に向けて、土砂災害防止施設の整備など、必要な防災対策を着実に実施していく必要があります。

主な指標等

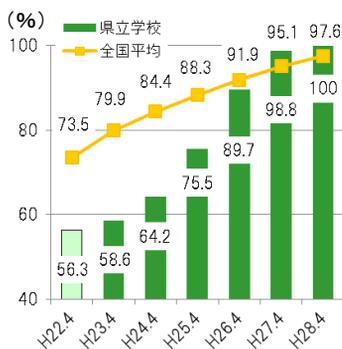
【災害の種類に応じた避難場所・避難経路を把握している県民の割合】



H26から3年間で、災害の種類に応じた避難場所・避難経路を把握している県民の割合は、

47.3 ポイントの増

【耐震化率(県立学校)】

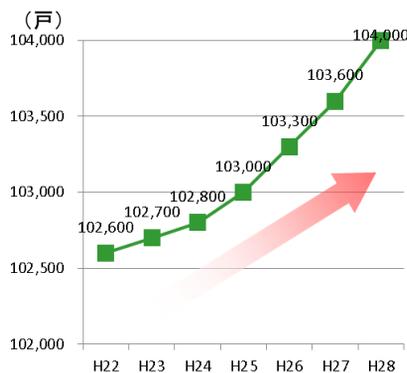


※全国平均は、全国の公立学校(幼・小・中・高・特)の平均値

H27年度末までに県立学校の耐震化は、

全校で完了

【土砂災害から保全される家屋数】



H22年度末から6年間で、土砂災害から保全される家屋数が

約1,400 戸の増

※国直轄事業を除く

主な実績

● 県民の防災意識の向上

- 「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の推進 [H27~]
- 自主防災アドバイザー等による
自主防災組織の活性化支援 [H24~]
- 地震発生を想定した**一斉防災訓練**の実施 [H25~]

● 県・市町の災害対処能力の向上

- **防災情報システム**の機能強化 [H22~]
- **市町防災体制の総点検** [H27~]
- **東日本大震災**を踏まえた
県地域防災計画, 県地震被害想定の見直し
- 県防災拠点等の機能強化** [H23~]
- 県庁施設**の耐震化(農林庁舎等)

● 公共施設等の耐震化

- **県立学校施設**の耐震化:**全校**((99校)で完了)
- **道路**の法面防災の対策箇所数 **42**箇所 [H28]
- **2次救急医療機関等**の耐震化整備:**10**病院 [H22~H27]



県立学校施設の耐震化



道路の災害防除

● 土砂災害防止施設の整備

- **土砂災害**から保全される家屋数 約**104,000**戸 [H28]



土砂災害防止施設

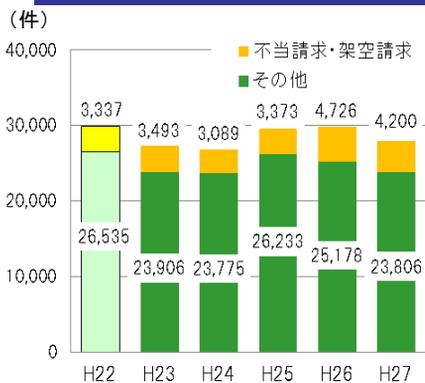
ポイント

「消費者被害のない広島県の実現」を目指して、消費者被害の防止と救済、消費者教育の推進などに取り組んでいます。

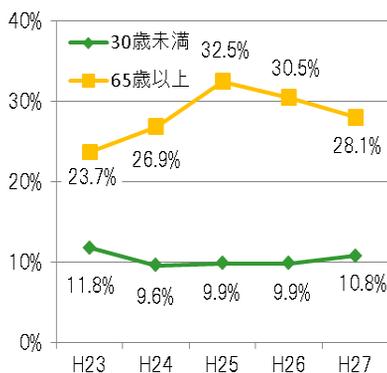
また、食品の安全・安心の確保のため、生産者・事業者・消費者の役割の明確化と連携強化を図り、生産から消費に至る各段階での対策に取り組んでいます。

主な指標等

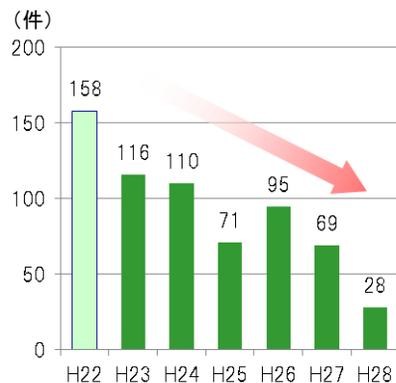
【県内の消費生活相談件数】



【高齢者・若者の相談割合】



【県内の食中毒発生件数】



H22からH27にかけて、消費生活相談件数は、

横ばい

H23からH27にかけて、
高齢者の相談割合は、
若者の相談割合は、

横ばい

H22からH28にかけて

食中毒発生件数は、**減少基調**

主な実績

● 消費者被害の防止と救済

➢ 「広島県消費者基本計画(第2次)(H27~H31)」を策定

次の取組を重点的に実施

- ・市町相談体制の充実に向けた支援
- ・高齢者・若者の消費者被害防止に向けた取組強化
- ・消費者被害防止に向けた消費者教育の推進

➢ 市町相談体制の支援を強化するため、

ICTを活用した共同相談対応等を実施 [H26~]

● 農林水産物の安全・安心の確保

➢ 「ひろしま地産地消推進県民条例」の制定 [H23.3~]

● 食品の安全・安心の確保

➢ 「食品の安全に関する基本方針及び推進プラン (H27.4~H31.3)」を策定

➢ **食品の監視指導や試験検査**の強化

監視指導計画に基づく監視指導実施

年間立入検査件数

計画24,800件 実施25,650件 実施率103.4% [H28]

年間試験検査件数

計画4,200件 実施4,102件 実施率 97.7% [H28]

➢ **BSE検査**の実施 対象となる牛全頭を検査 [H22~]



➢ **鳥インフルエンザ**の検査・指導の強化

17 治安

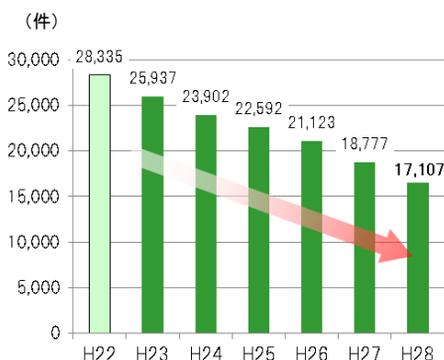
ポイント

多様な主体との協働・連携による「安全・安心なまちづくり」と「安全・安心をもたらす警察活動」を両輪とした取組により、刑法犯認知件数・交通事故死者数は総じて減少しています。

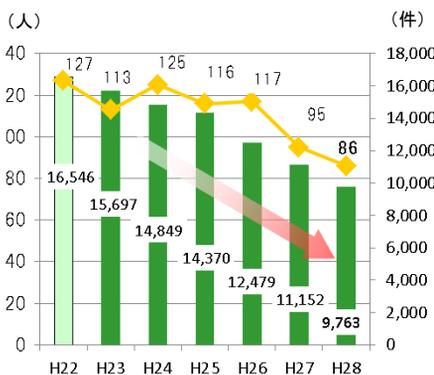
一方で、性犯罪・DV・ストーカーなど子供や女性が被害に遭う犯罪や、高齢者が対象となりやすい特殊詐欺事件等が後を絶たない現状を踏まえ、「アンダー80作戦」の推進など、更なる治安向上の取組を進めていきます。

主な指標等

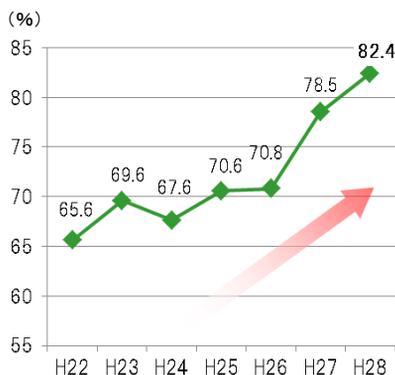
【刑法犯認知件数】



【交通事故発生状況】



【重要犯罪検挙率】



H22から6年間で、刑法犯認知件数は、

11,228 件の減少

H22から6年間で、交通事故死者数は

41 人の減少

H22から6年間で、重要犯罪検挙率は、

16.8 ポイントの上昇

主な実績

● 多様な主体の協働・連携による「安全・安心なまちづくり」

- 刑法犯認知件数(H28)が、**戦後最少記録を更新** (前年比8.9%減少)
- 交通事故死者数(H28)が、統計値が残る昭和23年以降で**最少の86人**
- スクールサポーターの派遣による「**安全に安心して学べる学校づくり**」の推進
- 防犯ボランティア交流会の開催や青色防犯パトロール活動の推進等による**自主防犯活動の促進**
- 県警メールマガジンや地図情報システム等を活用した**タイムリーな情報発信**
- 市町、事業者、町内会等と連携した**防犯カメラの設置促進**
- 関係機関・団体や事業者等との協働による**交通安全教育・広報啓発**及び**特殊詐欺被害防止対策**の推進
- サイバー防犯ボランティア等の関係機関・団体との連携による**サイバー空間の安全の確保**



メイプル君

● 安全・安心をもたらす警察活動

- **高齢者交通安全対策室**の新設 [H29.4]
- 悪質・危険な交通違反に対する**交通指導取締りの強化**
- 凶悪犯罪等の**重要犯罪の徹底検挙**
- **改正ストーカー規制法**の施行に伴う適切な対応
- **特殊詐欺事件・抑止対策の強化**
- サミット外相会合・オバマ前米大統領訪問に係る**警護警備の完遂**

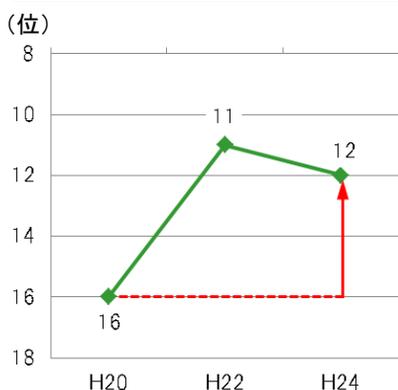
ポイント

地域の特性や資源を生かした地域の価値を高める様々な活動による地域ブランドの確立や、地域全体のイメージアップと個々の有益な地域資産の価値向上に取り組んでいきます。

また、優れた文化・芸術やスポーツに身近に接する機会の拡充や、機能的で魅力的な都市の形成など、本県の魅力の創出に向けた取組を推進します。

主な指標等

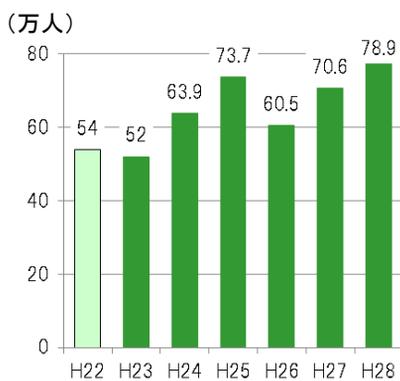
【地域ブランドランキング】



地域ブランドランキング(日経リサーチ)の全国順位は、

12位へ上昇

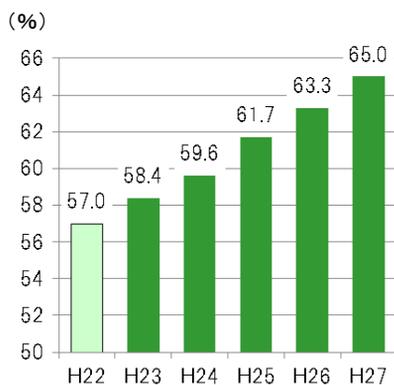
【県立美術館及び縮景園入館(園)者数】



県立美術館及び縮景園入館(園)者数はH22以降

増加基調

【街路改良率】



H22と比べて、街路改良率は

8.0ポイント増

主な実績

●「ひろしま」ブランドの価値向上

➢「ひろしま」ブランドの価値向上に向けた取組方針の策定 [H26.2]

4つのコンセプト(「自然と都市が融合した暮らし」、「平和への希望が集う場所」、「内海と山々が織りなす食文化」、「創造性あふれる次世代産業」)に基づき、「**地域全体のイメージアップ**」と「**個々の有益な地域資産の価値向上**」を推進

➢首都圏でのブランド発信拠点「TAU」での情報発信

売上実績: 約**9.6億**円 [H28]

来店者数: 約**87万**人 [H28]

報道件数: **1,982**件 [H28] 広告換算額: 約**46億**円 [H28]



➢販路開拓 成約件数:**88**件 [H28]

●文化・芸術・スポーツに親しむ環境の充実

➢県立美術館における特別展**大恐竜展**開催 [H28]

(入館者数8万8千人)

美術館全体の入館者数 **51万1千**人(過去最大)

●東京オリンピック事前合宿誘致

➢26競技の事前合宿県内受入に係る**基本協定をメキシコオリンピック委員会と締結** [H29.5]

●広島市との連携による都市圏の魅力向上

- ひろしま都心活性化プラン**の策定 [H29.3]
- 広島市都心部の活性化に向けた連携事業**の実施 [H27~]

●魅力的な水際の活用

- 瀬戸内海クルージングポータルサイト**の開設 [H25.4~]
- 厳島港宮島口地区**港湾整備事業着工 [H25.9]

●大規模市街地再開発の進展

- 広島駅南口 **Bブロック** : 工事完成 [H28.8]
- 広島駅南口 **Cブロック** : 工事完成 [H29.1]

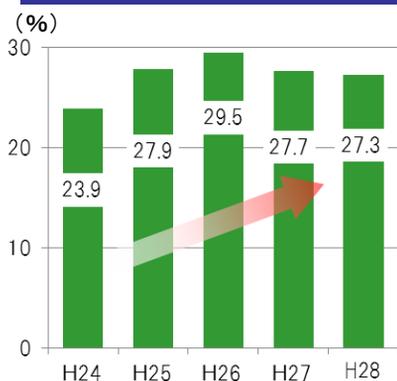
世界に誇れる「瀬戸内」が、国内外の人々に認知されるとともに、幾度となく訪れてみたい場所として選ばれるよう、瀬戸内ブランドの形成に向けた取組を進めています。

ポイント

平成28年4月に事業開始した(一社)せとうち観光推進機構において、国内外へのプロモーションや瀬戸内の魅力を体感する環境整備、観光関連サービス、地域産品などのプロダクトの開発の誘導に取り組みます。

主な指標等

【首都圏・関西圏における瀬戸内への強い来訪意向を持つ人の割合】



平成24年と比較して、

3.4%増

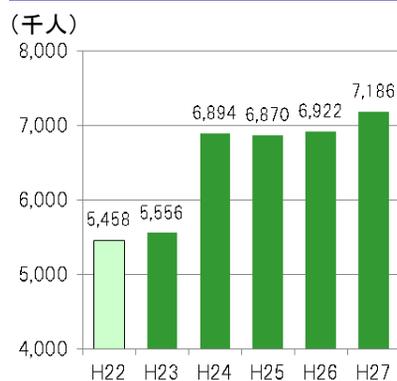
【瀬戸内7県の外国人延宿泊者数】



平成23年から平成28年にかけて

着実に増加

【瀬戸内海国立公園の利用者数】



平成22年度から

増加傾向

主な実績

● 瀬戸内海の道構想の推進

- 「瀬戸内海の道構想」の策定 [H23.3]
- 7県で「瀬戸内ブランド推進連合」を設立 [H25.4]
構成県: 兵庫, 岡山, 広島, 山口, 徳島, 香川, 愛媛
- “せとうち・海の道”ルートが「広域観光周遊ルート」に認定 [H27.6]
- せとうちDMOの発足 [H28.3]
「瀬戸内ブランド推進連合」を「一般社団法人せとうち観光推進機構」に発展改組し、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションと連携して事業開始



- 瀬戸内サイクリングロード
しまなみ海道自転車通行料 無料化の2年間の延長 [H30.3.31迄]



● 瀬戸内海クルージングの促進

- 広島港客船誘致・おもてなし委員会の設立 [H26.4]
- 宮島ビジターバス 供用開始 [H26.8]
- 五日市岸壁での受入環境整備 [H27.3]
- クルーズ客船初寄港
「ゴールデン・プリンセス」「レジェンド・オブ・ザ・シーズ」「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」[H28.5], 「コスタ・アトランティカ」 [H29.3]
- ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社と客船寄港に関する覚書締結 [H28.6]

● 魅力ある農林水産物のブランド化

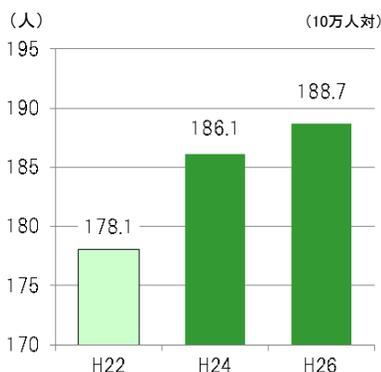
- 品質管理を強化した高品質かきの安定供給に向けた取組 [H25~]
かき生産額 154億円 [H22] ⇒ **179**億円 [H27]
- 周年供給が可能な長期貯蔵技術の確立 [H27実用化]
広島レモン生産額 8.6億円 [H22] ⇒ **19.1**億円 [H27]

ポイント

活力ある中山間地域の実現に向け、日常生活を支える医療や交通インフラ等の確保や基幹産業である農業をはじめとする地域産業の振興など、幅広い取組を進めています。人口減少や少子高齢化が進展する中で、様々な課題を抱える地域の対策について、中山間地域振興計画(H26.12策定)に基づき、一層、総合的な対策を進めていきます。

主な指標等

【過疎地域医師数】



H22と比べて、医師数は、**10.6**ポイント増

【生活交通の確保】

路線バス等の生活交通が維持された市町数

H22～H28
全23市町

維持された航路数

H22～H28
21航路

路線バスや航路などの生活交通については、**維持・確保**

【農作物鳥獣被害額】



H22と比べて、農作物鳥獣被害額は、**約半減**

主な実績

● 中山間地域の人づくり

- 中山間地域振興条例の制定 [H25.10]
- 中山間地域振興計画の策定 [H26.12]
- ひろしま《ひと・夢》未来塾の実施：塾生**97**人 [H27～]
(若い担い手の育成・確保のための研修を実施)
- ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクトの実施
(首都圏から地域貢献に高い意欲を有する人材を確保) 参加者**93**人 [H27～]
- 中山間地域リーディングシンポジウムの開催
県内全域17か所 来場者数：**3,440**人 [H25～H27]
- ひろしま里山ソーシャル・カフェの開催：来場者**668**人 [H28]
- 「ひろしま さとやま未来博2017」の開催 (H29年3月～11月)
ココロザシ応援プロジェクト 地域づくり活動 採択件数 **272**件 [H28]

● 医療確保対策の徹底

- 奨学金制度等を活用したへき地等勤務医師の養成：**155**人 [H22～H28]
- 県北地域の無医地区への移動診療車による**巡回診療の実施** [H24.7～]

● 産業の基盤づくり

- 中山間地域の**未来創造計画**への支援
全域過疎地域市町への支援：10市町 [H23～]
※府中市はH26～
- 一部中山間地域市への支援：6**市 [H26～]
- **総合的な鳥獣被害防止対策**の推進
農作物鳥獣被害額：**397**百万円 [H28] [H22比：▲451百万円]



無医地区等への巡回診療



道の駅たかの

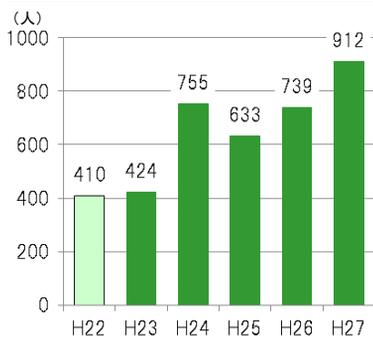
ポイント

平成23年度に策定した「国際平和拠点ひろしま構想」に基づき、世界の核軍縮・不拡散のプロセスの進展のための働きかけや、広島の実験を生かした平和構築人材の育成等を推進しています。

広島の発信力を強化するとともに、関係機関と連携して、平和活動を継続的に支援するための仕組みづくりを進めていきます。

主な指標等

【県及び県の関係機関で平和を学ぶ人数】



H22と比べて、県及び県の関係機関で平和を学ぶ人数は、

502人の増加

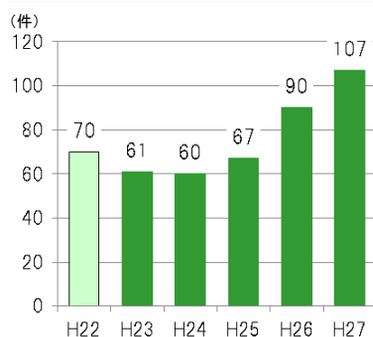
【平和関係国際会議開催件数】

H22	H23	H24	H25	H26	H27
10件	14件	10件	17件	15件	25件

H22と比べて、平和関係の国際会議の開催件数は、

15件の増加

【海外要人来広件数】



H22と比べて、海外の要人が広島を訪れた件数は、

37件の増加

主な実績

● 平和拠点の実現に向けた対策

- 国際平和拠点ひろしま構想の策定 [H23]
- トップによる海外PR
 - 潘基文国連事務総長へ構想への協力要請 [H23.11]
 - ユニタール本部長、トカエフ国連欧州本部長へ構想への協力要請 [H24.10]
 - NPT運用検討会議への参加(サイドイベントの開催) [H26~] 等
- 核廃絶の機運を高める「ひろしまレポート」を公表 [H25~]
 - 核軍縮等に関する各国の取組を評価した報告書の取りまとめ
- 復興・平和構築の人材育成に活用する報告書を発信 [H26.4~]
- 高校生を対象に「グローバル未来塾inひろしま」を開講[H28~]
- 欧州の主要な研究機関との連携協定を締結[H29.5]

● 多彩な平和貢献イベントの開催

- ワールド・ピース・コンサートを開催 [H25.7~8]
 - ・クインシー・ジョーンズ、チョン・ミョンフンなど世界的な著名アーティストが多数参加し、15,000人が来場
 - ・世界放映の視聴可能世帯数 5億世帯



ワールド・ピース・コンサート開催

- ローマ法王一般謁見 [H29.5]
- 国際会議開催・誘致 [H23~]
 - 国際平和シンポジウム、フォーラムの開催 [H23, H24]
 - ひろしまラウンドテーブルの開催 [H25~]
 - NPDI広島外相会合の開催支援 [H26.4]
 - 国連軍縮会議の開催支援 [H27.8]
 - G7広島外相会合の開催支援 [H28.4]
 - ひろしまジュニア国際フォーラムの開催[H28~]
- オバマ米国大統領の広島訪問 [H28.5]



オバマ米国大統領の広島訪問



G7広島外相会合開催

- 国際平和のための世界経済人会議を開催 [H28.10]
 - ・マーケティングの世界的権威であるフィリップ・コトラ教授を迎え、マーケティングによる平和構築をテーマとした世界初となる会議を開催



国際平和のための世界経済人会議開催

平成 28 年度地方創生関連交付金を活用した事業

【地方創生加速化交付金】(補助率 10/10)

	事業名	内容	K P I	その他指標	頁
1	イノベーション創出推進事業	創業・新事業展開等支援事業	達成:1 実績未確定:1	達成:1	1
		ひろしまオープン・イノベーション推進事業			
		創造活動活性化支援事業			
2	働き方改革・女性の活躍促進事業	働き方改革推進事業	達成:1 未達成:2 実績未確定:1	-	3
		女性の活躍促進事業			
3	中山間地域人材育成・ネットワークづくり事業	ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト	達成:1	達成:2	5
4	国際平和拠点ひろしま構想推進事業	国際平和拠点ひろしま構想推進事業	達成:1 実績未確定:2	達成:2	7
		ひろしまジュニア国際フォーラム開催事業			
		留学生受入・定着倍増促進事業			
5	地方創生人材確保・支援事業	イノベーション人材等育成・確保支援事業	達成:3	達成:1	9
		広島県経済分析システム普及促進事業			
6	「いいね!地方の暮らしフェア」開催事業	ひろしまスタイル定住促進事業	達成:1	達成:1 未達成:3	11
7	「チャレンジする人が集まる常設の空間」整備事業	「チャレンジする人が集まる常設の空間」形成促進事業	達成:1	-	13

【地方創生推進交付金】(補助率 1/2)

	事業名	内容	K P I	その他指標	頁
8	産業クラスター形成事業	医療関連産業クラスター形成事業	達成:1 未達成:2	-	15
		新成長分野・新技術創出支援事業			
9	海外ビジネス展開支援事業	次世代ものづくり基盤形成事業	達成:2 実績未確定:1	-	17
		海外ビジネス展開支援事業			
		環境浄化産業クラスター形成事業			
10	観光地ひろしま推進事業	観光地ひろしま推進事業	達成:4	-	19
		瀬戸内クルージング促進事業			
11	ひろしまブランド推進事業	ひろしまブランド推進事業	その他:1 実績未確定:1	-	21
		広島かき安定供給システム構築事業			

1 イノベーション創出推進事業【商工・地域】

新しい事業が次々と生まれる環境（イノベーション・エコシステム）の構築や創業・第二創業の支援，戦略的な投資誘致などにより，企業の付加価値・競争力を上げるイノベーション力の徹底強化に取り組む。

全体事業費：289,105 千円（うち地方創生加速化交付金：278,828 千円）

指 標		H28 目標	H28 実績	達成状況
KPI	開業率	5.5%	29.11 判明 (H27 実績 4.4%)	実績未確定
KPI	ひろしまイノベーション・ハブ利用者数	1,200 人	1,530 人	達成
その他指標	Hiroshima Creative カフェ（仮称）の参加者数	延人数 160 人	245 人	達成

【構成する県事業（3件）】

① 創業・新事業展開等支援事業（商工） 211,725 千円

目的	県内産業の付加価値の拡大や競争力の強化を図るため，イノベーション力の強化に注力し，絶えず新たなビジネスが創出される環境づくりとボリュームゾーンである中小企業の新事業展開及び生産性の向上を促進する。	
主な事業内容	創業環境整備促進事業（119,749 千円）	<ul style="list-style-type: none"> ○オール広島創業支援ネットワークにおける支援機関担当者の研修を実施し，創業支援機能及び連携を強化 ○ひろしま創業サポートセンターにおいて，専門アドバイス及び創業セミナーを実施するとともに，潜在的創業希望者の拡大のため，若い世代を対象としたビジネスプランコンテスト等を実施し，創業への意識を醸成
	中小企業イノベーション促進支援事業（91,976 千円）	<ul style="list-style-type: none"> ○専門家の支援チームによる中小企業の新事業展開支援 ○技術・経営力の評価書を発行し，信用力の向上による融資や経営課題の解決を支援 ○中小企業成長支援人材の育成・指導人材の派遣
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援 目標に掲げる県全体の開業率 10%（平成 27 年度 4.4%）の達成には，創業を肯定的に受け止め，創業にチャレンジする雰囲気作りや若い世代以外にも対象範囲を広げたアプローチを進め，潜在的創業希望者の量的な拡大を図る必要がある。 ○新事業展開支援 県内総生産の 7 割を占めるサービス産業の生産性を向上させるため，経営者の意識改革や IT 利活用等による業務の効率化等を図る必要がある。 	
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援 創業意識啓発セミナーや一般県民が参加する創業フェスティバルを実施するほか，50 歳以上のシニア層を対象としたセミナーの開催や若者とのマッチング等により創業意識向上を図るとともに，創業ポータルサイトの運営による情報発信などにより，拡大した潜在的創業希望者を既存の支援スキームにつなげていく。 ○新事業展開支援 事業所数や従業者数で大きなシェアを占める卸・小売業や，インバウンドなどの域外需要の取り込みを期待できる宿泊業を中心に，現場改善のワークショップを通じた経営者の課題解決に向けた意識改革に取り組む。また，中小企業におけるクラウドサービス等の IT 導入支援等，地域の金融機関や経済団体等の関係機関と連携を図りながら，サービス産業の生産性の向上を促進する。 	

② ひろしまオープン・イノベーション推進事業（商工） 64,896 千円

目的	企業や大学、金融機関、行政など様々なプレーヤーが相互につながり、組織の枠組みを超えて出会い・交流等を行う「場」の運営や、強いリーダーシップを有する人材の育成などを実施することで、地域において絶え間ないイノベーションが創出される生態系システムのような環境・状況（イノベーション・エコシステム）を形成する。	
主な事業内容	ひろしまイノベーション・ハブ形成促進事業（46,677千円）	○イノベーションを促す機運醸成を図るイベントの開催 ○ターゲット設定型起業家育成プログラムの実施 ○事業展開支援型プログラムの実施
	「ひろしまイノベーション・リーダー養成塾」（18,219千円）	○イノベーションを実現していく次世代リーダー人材を育成する「ひろしまイノベーションリーダー養成塾」の運営
課題	○産学金官の強固なパートナーシップ構築 産学連携を日常的かつオープンなレベルに引き上げるために、中長期的視点に立った産学連携推進体制の充実を図る必要がある。 ○ひろしまイノベーション・ハブ イノベーションを起こしていく核となる人材の集積とともに、参加者間での自発的な活動も生まれているが、自発的な活動の量（つながりの創出）や熱量（活性）の不足などにより、イノベーション・エコシステムの形成までには至っていない。	
取組方針	○産学金官の強固なパートナーシップ構築 地域イノベーション戦略推進会議の下で実務レベル及び外部専門家等が具体的な課題の抽出と調査検討を行い、産学連携推進体制の充実に向けて具体的なプロジェクトの拡充を図る。 ○ひろしまイノベーション・ハブ 平成29年3月に設置した常設の拠点である「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」において、常駐のコーディネーターによる、多様な人材に対応したアドバイスや交流イベントの企画・実施を通じて様々なつながりを創出し、アイデアの事業化支援を行う。	

③ 創造活動活性化支援事業（地域） 12,484 千円

目的	新しいアイデアで創造的に活動する人材を支援するとともに、首都圏等に広く情報発信し、多様な人材の集積を促進する環境を創出する。	
主な事業内容	「Hiroshima Creative Cafe」の実施（12,484千円）	<p>【Hiroshima Creative Cafe の開催】</p> <p>○県内の若手クリエイターなど、今後の活躍が期待できる人材の活動を後押しするため、アイデアや活動内容を発表する場や分野を限定しない交流を促進する場を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数：7回の定期開催(H28.8～H29.3) ・開催場所：広島市内 ・発表者：広島を拠点に新しいアイデアで創造的に活動する人材 <p>【県外に向けた情報発信】</p> <p>○県内で創造的な活動に取り組む人材の情報等を、首都圏をはじめとする県外に発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の取組の進展につながる人的ネットワークの形成などを目的としたカフェブックの製作(Hiroshima Creative Cafe the Book) ・県主催のイベントでの発信
課題	○クリエイティブカフェの認知度を上げるため、広島県内のみならず、首都圏に向けて、発表者の取組の発信等を行う必要がある。 ○発表者の取組の進展や、発表者とカフェ参加者等のコラボレーションによる新たな取組等の創出につなげるため、発表者の取組の進展に向けたフォローアップを行う必要がある。	
取組方針	○多様な人材の集積を促進する環境の創出に向けて、カフェの場の魅力向上を図るとともに、首都圏発信を強化する。 ○イノベーション・ハブ・ひろしま Camps やディレクターなどの幅広い人脈を活用した支援体制を構築し、アフターフォローに取り組むことにより、発表者の取組の進展や、発表者とカフェ参加者等のコラボレーションによる新たな取組など、成功事例の創出につなげる。	

2 働き方改革・女性の活躍促進事業【商工】

(参考)
H29 総合戦略 45 頁, 48 頁

時間や場所にとらわれない働き方により, 多様なライフスタイルを可能にする雇用環境の整備を推進する。また, 女性の活躍促進に取り組む企業の拡大を図るとともに, 女性がその能力を生かすことができる環境を整備する。

全体事業費 : 77, 451 千円 (うち地方創生加速化交付金 : 74, 183 千円)

指 標		H28 目標	H28 実績	達成状況
K P I	一般事業主行動計画を策定し, 次世代育成支援に取り組む企業 (従業員数 31 人以上) の割合	57%	50.6%	未達成
K P I	週労働時間 60 時間以上の雇用者の割合*	7.7%	7.1%	達成
K P I	一人当たりの年次有給休暇取得率	49.5%	H29.10 判明 (H27 実績 46.3%)	実績未確定
K P I	事業所における指導的立場に占める女性の割合	20.7%	18.7%	未達成

※総務省統計局労働力調査の調査票情報を独自集計したもの

【構成する県事業 (2 件)】

①働き方改革推進事業 (商工) 14, 763 千円

目的	県民の仕事と暮らしの充実に配慮できる環境を実現するため, 働き方改革に取り組む県内企業を支援することで, 企業における多様な働き方の広がりを促進する。	
主な事業内容	県内企業の働き方改革取組実態調査 (4, 689 千円)	○働き方改革の取組についての実態調査を実施し, 企業の取組状況に応じた分類・分析を行い, 効果的な対応を検討
	共感企業に対する支援 (2, 600 千円)	○企業コンサルティング効果の実証 ・働き方改革のための制度の導入や活用等について適切に助言・指導できる専門家によるコンサルティングを行い, その効果を検証
	イクボス普及拡大事業 (7, 474 千円)	○イクボス同盟の活動充実及び情報発信 ・同盟メンバーによる「イクボス同盟からの提言」の情報発信や, 他の経営者等にイクボス概念を普及啓発する活動を支援 ○イクボス養成講座の開催 ・企業内の管理職等を対象に, 働き方改革に関する組織マネジメント等のノウハウやスキルを学ぶ講座を開催
課題	○平成 28 年度に実施した実態調査結果によると, 県内企業において, 長時間労働の削減や休暇の取得促進に向けた環境整備が十分に進んでおらず, 働き方改革に取り組む企業は 35.5% に留まり, その中でも進捗状況に差があるため, 企業の状況に応じたきめ細かな支援を実施する必要がある。	
取組方針	○実態調査結果を踏まえ, 働き方改革に取り組む企業の優良事例が, 県全体の取組を牽引し, 裾野が広がっていく好循環を目指して, 県内企業の取組を後押しする次の事業を実施する。 ・県内経済団体が創設した「広島県働き方改革実践企業認定制度」と連携し, 認定企業の取組を優良事例として効果的に発信するほか, 専門コンサルタントを派遣し, モデル優良企業を創出する。 ・イクボス同盟の活動充実などにより経営者層の理解促進を図るとともに, 取組ノウハウ不足の企業に対し, 専門アドバイザーの派遣による取組の導入・実践支援を実施する。 ・「働き方改革」などをテーマにした, 先進事例の紹介や意見交換等を行うフォーラム「W I T 2 0 1 7」の開催や, 平成 28 年度に発足した官民連携組織「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」と連携した取組によって, 機運を醸成する。	

②女性の活躍促進事業（商工） 62,688 千円

<p>目的</p>	<p>女性の活躍促進のため、仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくりや、就業継続、再就職支援を行うとともに、女性の管理職登用の推進を図る。</p>	
<p>主な事業内容</p>	<p>仕事と家庭の両立支援推進事業（4,505 千円）</p>	<p>○一般事業主行動計画策定促進市町キャラバンの実施 ・「働く女性応援隊」の枠組みを活用し、行動計画策定講習会を市町で開催</p>
	<p>女性の就職総合支援事業（50,660 千円）</p>	<p>○わーくわくママサポートコーナー（広島・福山）の運営による女性の再就職支援 ・就職活動に関する相談対応、保育所情報等の提供 ・出張相談の実施 ・職場体験機会の提供、就職応援セミナーの開催</p>
	<p>女性活躍推進企業実態調査・分析（7,523 千円）</p>	<p>○職業生活における女性の活躍の促進策を検討するため、業種、規模ごとの女性の管理職登用等の現状把握・分析を実施</p>
<p>課題</p>	<p>○ 出産・子育て期に当たる女性の就業継続意欲の向上により、就業率が落ち込む「M字カーブ」は浅くなる傾向にあるが、依然として解消されていない。 ○ 就職を希望している女性が求職活動していない理由としては、「出産・育児のため」が最も多くなっており、女性が仕事と家庭を両立しながら働き続け、また、キャリアを形成する希望をかなえる環境づくりに取り組むことが一層求められている。 ○ 県内企業において、女性管理職登用に向けた人材の育成不足や、周囲にロールモデルとなる人物がいないことで、女性が仕事と家庭を両立しながら働く管理職像やキャリアアップへの展望を描けず、管理職登用に向けた意欲のある女性従業員が少ない状況が生じている。</p>	
<p>取組方針</p>	<p>○ 引き続き、女性の就業継続に向け、仕事と家庭を両立しやすい職場環境の整備を行うとともに、女性の求職活動支援や復職支援を実施する。 ○ 仕事と家庭の両立ノウハウを学ぶ機会の提供や、将来管理職となる世代の女性を対象としたキャリアアップ研修など、企業の管理職登用に向けた人材育成の支援を行うとともに、平成 28 年度に発足した官民連携組織「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」と連携しながら、女性活躍に関する先進取組事例を発信し、企業経営者や管理職の意識改革を図る。</p>	

3 中山間地域人材育成・ネットワークづくり推進事業【地域】

(参考)
H29 総合戦略 67 頁

地域貢献に意欲のある首都圏の若者と広島県の中山間地域において実践活動に取り組む人材のマッチングや具体的な課題解決を通じて、つながりを創ることによって、中山間地域内外における担い手の確保と実践活動参加者の拡大を図る。

全体事業費：25,988 千円（うち地方創生加速化交付金：25,988 千円）

指 標		H28 目標	H28 実績	達成状況
KPI	地域づくり活動をリードする人材の育成	70 人	70 人	達成
その他指標	首都圏のソーシャル人材の確保（累計）	75 人	93 人	達成
その他指標	首都圏のソーシャル人材による課題解決プランの件数（累計）	20 件	23 件	達成

【構成する県事業（1件）】

①ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト（地域） 25,988 千円

目的	地域貢献に意欲のある首都圏の若者と広島県の中山間地域において実践活動に取り組む人材のマッチングや具体的な課題解決を通じて、つながりを創ることによって、中山間地域内外における担い手の確保と実践活動参加者の拡大を図る。			
主な事業内容	首都圏のソーシャル人材の確保 (25,988 千円)	<ul style="list-style-type: none"> ○事業説明会等の実施 プロジェクトに参加する地域貢献に意欲のある人材の確保に向けて、首都圏での説明会や地域実践者との意見交換、マルシェを通じた里山イメージの情報発信等を実施 ○首都圏でのセミナーの実施（現地実習前） プロジェクトへの参加者を対象に、メンターによる実践事例の紹介やワークショップを開催 ○現地実習の実施 首都圏での事前セミナーを通じて地域の課題等を学んだ上で、現地を訪問し、体験活動等への参加・実習や地域との交流、振り返りワークショップを実施 ○参加者によるプレゼンテーションの実施 プロジェクト参加者が作成する実践プランへのメンターによる指導・助言を行った上で、最終プランのプレゼンテーションを実施 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中山間地域内外における担い手の確保に向けて、これまで受け入れた各市町において、受講生との交流を継続する必要がある。 ○ オープンセミナー、マルシェなど広島の魅力をもつ一般向けのセミナー等では、実際の受講に結び付くケースが少ない。 			
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまで受け入れた受講生や市町関係者、地域実践者等との交流会を実施するなど、地域とのつながりが継続するよう取り組む。 ○ 受講生の募集について、広島の魅力をもつ一般向けのセミナー、マルシェに代えて、地域貢献に意欲のある首都圏の若者などの関心層に特化した事業説明会を強化する。 			

4 国際平和拠点ひろしま構想推進事業【地域】

(参考)
H29 総合戦略 52 頁

「核兵器廃絶」と「復興・平和構築」への取組を包括的に推進するとともに、世界から人材、知識、情報、資金などの資源を集積し、平和活動を継続的に支援するための「持続可能な平和支援メカニズム」を整備する。

全体事業費：102,816 千円（うち地方創生加速化交付金：102,816 千円）

指 標		H28 目標	H28 実績	達成状況
KPI	平和に関する人材、知識・情報、資金などを集積して、継続的な平和活動を可能とする仕組みの事業推進主体としてのセンター機能の方向性の具体化	センター機能の方向性の整理	センター機能の方向性の整理	達成
KPI	県内の留学生数	3,620 人	H30.3 判明 (H27 実績 3,515 人)	実績未確定
KPI	県内外の留学生の県内就職者数	149 人	H30.11 判明 (H26 実績 199 人)	実績未確定
その他指標	次代の国際平和と人材の育成の取組を通じた、広島で平和を学ぶ青年数	100 人	104 人	達成
その他指標	平和ビジネス（BOPビジネス等）への進出に取り組む企業数	4 社	6 社	達成

【構成する県事業（3件）】

① 国際平和拠点ひろしま構想推進事業（地域） 53,911 千円

目的	世界中のリーダーや研究者、NGO など、幅広い人材や情報・知識、資金などの資源を広島に集め、結びつけ、つなぐことにより、核兵器廃絶や復興・平和構築などの分野の研究や活動が活発に展開される「国際平和拠点ひろしま」の実現を通じて、平和で安定した国際社会の実現を図る。	
主な事業内容	国際平和のための世界経済人会議 (49,026 千円)	○国内外から世界で活躍する有識者や経済人を広島に迎え、ビジネスと平和構築の在り方を多面的に議論するとともに、核兵器のない平和な世界の実現に向けた効果的な発信と国際世論の喚起を図ることを目的とした国際会議を開催
	事業を推進するセンター機能の在り方の検討 (336 千円)	○人類史上初の原子爆弾により破壊され、その廃墟から復興した広島が、国際平和の拠点となるための取組の一層の推進に向け、「広島国際平和の拠点化」につながる事業推進主体としての新たなセンター機能の在り方について検討
	グローバル未来塾 in ひろしま (4,549 千円)	○高校生等を対象に、国際平和を希求する高い志を持ち、将来、国際的に活躍できる人材の輩出を目的としたプログラムを実施
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ いずれの事業もその効果を期待するためには継続的に展開する必要がある。 ○ ビジネスと平和構築に在り方についても、新たな切り口を加えつつ、継続的に情報発信する必要がある。 ○ センター機能の在り方については、実現に向けた検討を引き続き行う必要がある。 ○ 次世代の人材育成に継続的に取り組むとともに、より広い範囲に取り組む必要がある。 	
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、継続的な取組の展開を図る。 ○ ビジネスと平和構築の在り方については、より掘り下げたテーマでの会議等を実施する。 ○ センター機能の在り方については、その具体化に向け、実施手法等の検討を進める。 ○ 次世代の人材育成については、事業の継続とともに、そのプログラムを世界の青少年にオンラインで提供できる仕組みの検討を進める。 	

② ひろしまジュニア国際フォーラム開催事業（地域） 18,676 千円

<p>目的</p>	<p>海外から中高校生を招聘して、県内の中高校生と国際平和についての討議や交流等を行い、平和のメッセージを世界に発信するとともに、国際的な相互理解を深め、次代の人材育成と国際平和拠点性の向上を図る。</p>	
<p>主な事業内容</p>	<p>ひろしまジュニア国際フォーラムの開催 (18,676 千円)</p>	<p>○国内外の中高校生及び県内留学生（16 か国 83 名）が広島に参集し、平和を学び発信する会議を開催 ・開催時期 平成 28 年 8 月 21 日～24 日 ・実施場所 広島国際会議場ほか ・テーマ 平和な世界の実現に向け私たちができること （核兵器廃絶と復興・平和構築に向けた取組）</p>
<p>課題</p>	<p>○ 平和のメッセージの発信力の強化と参加者の国際的な相互理解の促進に向け、外国人高校生の参加国・地域数の増加などに取り組む必要がある。</p>	
<p>取組方針</p>	<p>○ 外国人高校生の参加国・地域数の増加を図り、平和のメッセージの発信力を高める。 ○ ひろしまジュニア国際フォーラム大使（参加中高生・留学生を任命）を通じた情報発信の充実を図る。 ○ 地域交流イベントを通じた、国際的な相互理解を進める。</p>	

③ 留学生受入・定着倍増促進事業（地域） 30,229 千円

<p>目的</p>	<p>少子高齢・人口減少社会及び社会経済のグローバル化が急速に進展するとともに、世界各国が人材の獲得競争を展開する中で、地域の活力を向上していくために、優秀な留学生の受入と県内での活躍環境づくりに取り組み、グローバル人材の育成と確保を図る。</p>	
<p>主な事業内容</p>	<p>留学生を核とした大学グローバル化推進事業 (11,676 千円)</p>	<p>○大学のグローバル化を推進するため、県内大学が実施する留学生倍増プロジェクトの支援などを実施</p>
<p></p>	<p>広島県留学生活躍支援センター事業 (18,553 千円)</p>	<p>○県、市町、県内大学等の 43 団体により構成される広島県留学生活躍支援センターを核とした、留学生の県内企業への就職支援</p>
<p>課題</p>	<p>○ 留学生の受入・定着倍増促進に向けて、大学や日本語学校等の主体的な取組を支援するとともに、産学官の連携により、広島の留学環境の魅力の充実を図る必要がある。</p>	
<p>取組方針</p>	<p>○ 県内大学をはじめとする関係機関で組織する留学生・大学グローバル化研究会等を通じて、引き続き、留学生の受入など大学等の主体的な取組を支援する。 ○ 広島県留学生活躍支援センターを核とした広島の魅力発信及び県内企業への就職支援を強力に推進する。</p>	

5 地方創生人材確保・支援事業【商工・総務】

(参考)
H29 総合戦略 28 頁

高度な技術・技能や経営感覚を持ったプロフェッショナル人材などイノベーションを生み出す多彩な人材の育成と集積等を推進する。

全体事業費：174,329 千円（うち地方創生加速化交付金：83,387 千円）

指 標		H28 目標	H28 実績	達成状況
K P I	プロフェッショナル人材の正規雇用人数	140 人 (H27～H28 累計)	172 人 (H27～H28 累計)	達成
		H28 70 人	H28 131 人	
K P I	県内企業における高度で多彩な産業人材の育成人数	185 人 (H23～H28 累計)	193 人 (H23～H28 累計)	達成
		H28 37 人	H28 45 人	
K P I	受入理工系留学生の県内企業への就職者数	15 人 (H25～H28 累計)	15 人 (H25～H28 累計)	達成
		H28 5 人	H28 5 人	
その他指標	RESAS を利活用する県内各種団体	100 団体	154 団体	達成

【構成する県事業（2件）】

①イノベーション人材等育成・確保支援事業（商工） 134,342 千円

目的	高度な技術・技能や経営感覚を持ったプロフェッショナル人材などイノベーションを生み出す多彩な人材の育成と集積等を推進し、企業の新分野への展開や地域産業の活性化等を図る。	
主な事業内容	プロフェッショナル人材マッチング支援事業 (64,028 千円)	○大都市圏等のプロフェッショナル人材と県内中小企業等のコーディネート ・地域金融機関や地元経済団体等と連携した県内の受入企業の掘り起し ・民間人材紹介会社等と連携した大都市圏等の人材の掘り起し ○人材受入コスト（人材紹介会社への手数料）への支援
	イノベーション人材等育成事業、広島県ものづくりグローバル人材育成事業 (70,314 千円)	○企業向け補助金による社員の国内外研修に派遣する費用等の支援や個人向け貸付金による修学に要する費用の支援、経営者層を対象とした「実践的マネジメント講座」の開催によるイノベーション等人材の育成 ○産学官が連携したアジアをはじめとする優秀な理工系留学生を受け入れ、ものづくり企業のノウハウを活かしたカリキュラムによるグローバル人材の育成
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都市圏の優秀な人材等を引き付けるためには、高年収などの求職者のニーズを満たす魅力的な求人を発掘する必要がある。 ○ 高コストで県外から人材を採用することに躊躇する中小企業等が多い。 ○ 大都市圏の企業の採用意欲が高く、魅力的な求人も増えているため、民間人材紹介会社はマッチングが容易な大都市圏の案件を優先する傾向があることから、地方へ還流する人材獲得が困難な状況がみられる。 ○ 求職者が転職する際の動機づけは、求人企業の魅力だけでなく、住環境などライフスタイルに魅力が感じられるかも重要な要素となるが、大都市圏在住者に本県の魅力が伝わっていない。 	
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域金融機関や民間人材紹介会社等との連携を密にするとともに、一定の規模や利益を有し、人材獲得ニーズのある優良な企業へのアプローチを強化することにより、魅力ある求人ニーズを掘り起こす。 ○ セミナー開催等により、経営者に対し、優秀な人材の獲得がコストではなく投資であることの意識向上を図るとともに、人材紹介会社との連携を更に強化してマッチングを促進する。 ○ 全国に先駆けて実施している民間人材紹介会社との協業を積極的に行うことで、本県への人材還流を促進する。 ○ 県内企業の情報のみならず、県内の住環境の魅力も発信することにより、本県を選択肢とする求職者を掘り起こす。 	

②広島県経済分析システム普及促進事業（総務） 39,987千円

<p>目的</p>	<p>ビッグデータを用いて社会・経済の問題解決や、業務の付加価値の向上が求められる中、国が提供している経済分析システム（Regional Economy Society Analyzing System）について、県内市町、民間企業、NPO、学校などでの利活用促進を図る。</p>	
<p>主な事業内容</p>	<p>自治体への支援（27,994千円）</p>	<p>○データに基づいた施策策定の重要性を認識するため、研修および各自治体の地域課題に対するデータ分析等の支援</p>
	<p>企業、NPO等への利活用促進（6,000千円）</p>	<p>○地域の実情に即した活動とするため、データ活用や地域経済の課題把握への理解を深めるワークショップ等の実施</p>
	<p>中学、高校、大学における人材育成（5,993千円）</p>	<p>○地域の課題を客観視して対策を考えるワークショップを行い、政策アイデアコンテストへの応募を支援</p>
<p>課題</p>	<p>県内市町、民間企業、NPO、学校などといった各種団体にて、引き続き有効に利活用されるよう、フォローを行う必要がある。</p>	
<p>取組方針</p>	<p>各種団体への利活用支援のため、引き続き政策アイデアコンテストなどを通じてRESASに精通する人材を育成する。</p>	

6 「いいね！地方の暮らしフェア」開催事業【地域】

(参考)
H29 総合戦略 50 頁

「都市と自然の近接性」という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルの魅力発信や、市町・関係団体等と連携した定住サポート体制の強化など、東京圏で高まりつつある地方移住の機運を取り込み、定住につなげる仕組みづくりを進める。

全体事業費：77,174 千円（うち地方創生加速化交付金：4,858 千円）

指 標		H28 目標	H28 実績	達成状況
KPI	県外からの定住世帯数（定住施策捕捉分）	100 世帯	149 世帯	達成
その他指標	フェア入場者数（他県連携事業）	3,000 人	4,686 人	達成
その他指標	相談コーナーでの相談件数（他県連携事業）	50 件/県	13 件	未達成
その他指標	フェア終了後3ヶ月間再相談件数（他県連携事業）	30 件/県	4 件	未達成
その他指標	フェア来場を契機とした移住世帯数（他県連携事業）	3 世帯/県	0 世帯	未達成

【構成する県事業（1件）】

①ひろしまスタイル定住促進事業（地域） 77,174 千円

目的	「都市と自然の近接性」という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルの魅力の発信や、定住相談窓口などの定住サポート体制の強化等を通して、東京圏で高まりつつある地方移住の機運を取り込み、移住・定住につなげる仕組みづくりを進める。	
主な事業内容	広島らしいライフスタイルの魅力発信 (32,145 千円)	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページや雑誌等による情報発信 ○定住フェアへの出展 ○他県と連携したイベント展開 ・各県知事や移住者らによるトークショーやシンポジウム ・地方への移住促進のための、住まい、仕事、結婚・子育て支援、農林水産就業等の相談コーナー運営 ・映像・イベント等の企画や、物産販売などによる地域の魅力発信
	移住希望者と地域のマッチング等 (45,029 千円)	<ul style="list-style-type: none"> ○相談窓口の機能強化 ○相談者の来広支援 ○人材マッチングセミナー等の開催 等
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定住相談窓口での相談件数は増加しており、移住希望地域ランキングも4位まで上昇しているが、依然として、広島県への定住の大きな流れを作り出すまでには至っていない。 ○ 移住希望者の具体的なニーズに応じたきめ細かなサポートを行うとともに、広島への移住を希望する人と県内各地域とのマッチングを図る必要がある。 ○ 市町や経済界等と連携して、移住者の受け入れ意欲のある地域の主体的な情報発信や空き家の掘り起しを促進するなど、移住の受け皿づくりを行う必要がある。 	
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページや雑誌等による情報発信、定住フェアへの出展、他県と連携したイベントの展開により、広島らしいライフスタイルの魅力発信を継続して行う。 ○ 東京の相談窓口において活用する人材・生活情報紹介シートの作成、市町・他県との移住相談者情報の共有・分析、東京での人材マッチングセミナーの開催を通じて、移住希望者と地域のマッチングを行う。 ○ 県・市町・地域が連携して「移住と地域活性化の好循環」を構築し、そのノウハウを全県へ波及させることを目指した「移住者受入モデル育成・支援地域」の取組や、移住者の仕事のマッチングの仕組みづくりなど、移住者に対する受け皿づくりを行う。 	

7 「チャレンジする人が集まる常設の空間」整備事業【商工】

(参考)
H29 総合戦略 24 頁

新たなビジネスや地域づくりにチャレンジする様々な人材が集い、産学金官等のネットワークの活用により、次々とイノベーションが創出されるための常設の場を整備する。

(「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」として H29 年 3 月設置)

全体事業費：42,914 千円（うち地方創生加速化交付金：38,380 千円）

指 標		H28 目標	H28 実績	達成状況
KPI	ひろしまイノベーション・ハブ利用者数	1,200 人	1,530 人	達成

【参考：H29 年度総合戦略における指標】

指 標		H29 目標
KPI	常設拠点利用者数	3,000 人
KPI	常設拠点利用を通じた事業化件数	5 件

【構成する県事業（1 件）】

①「チャレンジする人が集まる常設の場」形成促進事業（商工） 42,914 千円

目的	企業や大学、金融機関、行政など様々なプレーヤーが相互につながり、絶え間ないイノベーションが創出される生態系システムのような環境・状況（イノベーション・エコシステム）の整備に向けて、組織の枠組みを超えて出会い・交流を行う「場」を常設する。	
主な事業内容	常設の場施設整備事業（36,417 千円）	○新たなビジネスや地域づくりなどに向けた取組として、多様な人材や資金、情報等を集積・結合し、新たなつながりやイノベーションが次々と生まれる好循環を創出する「チャレンジする人が集まる常設の場（イノベーション・ハブ・ひろしま Camps）」を設置
	常設の場管理運営事業（6,497 千円）	○「チャレンジする人が集まる常設の場（イノベーション・ハブ・ひろしま Camps）」の管理運営
課題	○平成 28 年度の常設拠点来場者数は、目標値を超えており、イノベーションを起こしていく核となる人材の集積とともに、参加者間での自発的な活動も生まれている。 しかしながら、自発的な活動の量（つながりの創出）や熱量（活性）の不足などにより、イノベーション・エコシステムの形成までには至っていない。	
取組方針	○常設の場であることを活かして引き続き多くの利用者呼び込むとともに、更なるイノベーションの機運醸成に向けた活動量・熱量を増大させるため、Camps 常駐のコーディネーターによる多様な人材に対応したアドバイスや交流イベントの企画・実施を通じて様々なつながりを創出し、アイデアの事業化支援を行う。	

8 産業クラスター形成事業【商工】

本県の基幹産業である自動車産業や今後大きく成長することが見込まれる航空機関連産業など、ものづくり技術の高度化や開発を推進し、県内企業の製品差別化や高収益化を図るとともに、本県経済を担う新産業の育成に向け、医療関連産業のクラスター形成や航空機・感性工学など成長産業の育成支援に重点的に取り組む。

全体事業費：166,274 千円（うち地方創生推進交付金：47,713 千円）

指 標		H28 目標	H28 実績	達成状況
KPI	医療機器等生産額	275 億円	200 億円	未達成
KPI	医療機器等製造企業数	55 社	54 社	未達成
KPI	航空機関連産業への新規参入・受注拡大企業数	2 社	2 社	達成

【構成する県事業（2件）】

①医療関連産業クラスター形成事業（商工）139,196 千円

目的	医療関連産業クラスター形成に向け、アクションプラン（H24.7月策定）の着実な実行と、ひろしま発のビジネス創出により、県内医療関連産業の振興・集積を図る。	
主な事業内容	クラスター推進基盤 (43,315 千円)	○ひろしま医療関連産業研究会活動の展開、支援体制の確保及び、ひろしま医工連携・先進イノベーション拠点での開発促進などによるクラスター推進体制の充実
	企業活動に対する支援 (89,009 千円)	○医療福祉現場のニーズ発掘、事業組成 ○医療・福祉課題解決に向けたデバイス開発パイロット事業などの医療・福祉機器・サービスの開発支援 ○展示会・商談会の出展・開催等による販路拡大など、医療・福祉機器の製品化・販売のトータルサポート
	ひろしま発のビジネスの創出、県外企業とのコラボ (6,872 千円)	○県外企業とのコラボレーション（マッチング・ネットワーク構築・人材発掘事業） ○治験、医療、福祉の分野ごとにコーディネーターを配置し、医療機関や福祉施設等の現場で治験・臨床試験等を実施するひろしまヘルスケア推進ネットワークの運営
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまで 100 社を超える首都圏、関西圏の医療関連企業に対して企業訪問、誘致活動を行ってきたが、生産拡大の動きはあるものの、既存工場の増設、他社への委託生産などの対応となっていることから、直ちに本県への新規設備投資を行う状況に至っていない。 ○ 個別プロジェクト組成の初期段階における関係者の対話の場、機会が不足している。 ○ 事業組成、研究開発、製造、販売までのスピードが遅く、事業化の確度が低い状況であるため、各段階での取組を強化する必要がある。 	
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業誘致について、展示会、商談会などのビジネスマッチングに重点的に取り組み、県内企業の生産受託、部品受注など県外大手医療機器メーカーとの取引拡大、ネットワークづくりを促進する。 ○ 訴求力を高める環境を整備し、本県への設備投資を促進するため、本県独自の取組である「実証フィールド」を活用するとともに、「バイオデザイン・プログラム」を活用した人材の育成・集積や県内のシーズ・ニーズを活用し、県外企業ともコラボしたモデルプロジェクト創出などに取り組む。 ○ 個別プロジェクトの事業化推進については、企業のニーズにきめ細かく対応できる支援体制を確保するとともに、引き続き、企業、医療関係者等でワークショップを継続するなど、有望なテーマの掘起こしに取り組む。 	

②新成長分野・新技術創出支援事業（商工） 27,078 千円

<p>目的</p>	<p>県内企業が、国内での生産活動を維持すべく、先端技術が求められる成長分野への新事業展開や“価値づくり”ができた製品の創出など、高付加価値のものづくりに活発に取り組んでいくことにより、将来に亘る競争優位性を獲得するための産業基盤の形成を図る。</p>	
<p>主な事業内容</p>	<p>新成長分野支援事業 (16,171 千円)</p>	<p>○航空機産業分野への参入拡大に向け、海外での個別商談会の開催や、アドバイザーを中心とした国内外での個々のマッチング活動の促進や品質管理体制整備支援等、ひろしま航空機産業振興協議会を通じた活動支援</p>
	<p>新技術創出支援事業 (10,907 千円)</p>	<p>○感性工学を活用したものづくりの活性化に向けたひろしま感性イノベーション推進協議会を通じた、既存の成功事例の分析・検証、感性イノベーション講座の開催等活動支援</p>
<p>課題</p>	<p>○ 航空機産業においては、厳密な品質保証が求められるなど、参入障壁が高いことから、継続的に多様な商談機会を創出していく必要がある。 ○ 感性工学を活用したものづくりの活性化に向け、ものづくりにおける“価値づくり”の必要性和、実践する際の手法などを広く普及・定着させていく必要がある。</p>	
<p>取組方針</p>	<p>○ 航空機産業について、引き続き、国内川下メーカーとのマッチングを促進するとともに、海外メーカーとの商談機会の創出に取り組む。 ○ 感性工学による“価値づくり”を実践していくための基礎的な講座を開催するとともに、製品開発の活性化に向けて、企画から開発・販売までの一貫した支援体制構築に取り組む。</p>	

9 海外ビジネス展開支援事業【商工】

経済のグローバル化や国内マーケットの縮小が一層進展する状況下にあっても、海外市場の獲得により、県内産業が発展し続けられるよう、県内企業による海外成長市場への参入・獲得を推進する。

全体事業費：243,821 千円（うち地方創生推進交付金：49,407 千円）

指 標	H28 目標	H28 実績	達成状況
K P I 県事業による海外売上高増加額(食品) (H25 比)	5.55 億円増	13.4 億円増	達成
K P I 県事業による海外売上高増加額(消費財等) (H25 比)	15.1 億円増	30.7 億円増	達成
K P I 環境浄化分野の売上高	1,195 億円	H29.8 判明 (H27 実績 1,162 億円)	実績未確定

【構成する県事業（3件）】

①次世代ものづくり基盤形成事業（商工） 132,890 千円

目的	本県の基幹産業（自動車、造船、電気・電子関連分野）において、事業環境の変化に伴って生じる新たな成長機会を高い技術力で獲得するため、県内企業が行う研究開発を支援し、新技術の芽出しから事業化まで一連の活動を促進する。	
主な事業内容	新技術トライアル・ラボ運営事業 (29,154 千円)	○新技術トライアル・ラボのスタッフ等がニーズに合致するシーズの探索やブラッシュアップを行い、実験や試作により評価
	次世代ものづくり技術開発支援補助金 (55,772 千円)	○県内企業が、具体的な市場（ニーズ）を踏まえ、これまで取り組んできた先行開発をもとに実施する応用開発・実用化開発を支援
	自動車関連産業クラスター支援事業 (36,205 千円)	○カーテクノロジー革新センターの運営を通じて、知のネットワーク構築、研究開発及び人材育成等を支援（ベンチマーキング活動支援、人材育成支援）
	自動車関連産業サプライヤー支援事業 (11,759 千円)	○自動車関連産業のサプライチェーンの維持に不可欠なサプライヤーのコスト競争力の強化及び販路拡大による経営基盤強化を支援
課題	○ 自動車関連産業のサプライチェーンを維持するためには、中核 Tier 1（一次下請）だけではなく Tier 2（二次下請）への支援も引き続き必要である。	
取組方針	○ サプライチェーンの維持に不可欠な Tier 2（二次下請）に対し、個別マッチング支援のほか、コスト競争力強化の支援として、「からくりくふう展（合同改善事例発表会）」開催による機運醸成、現場改善手法習得支援などを引き続き行う。	

②海外ビジネス展開支援事業（商工） 56,671千円

目的	県内企業の海外事業展開ニーズが高く、ビジネスチャンスがあると見込まれる地域・業種において、販路拡大・ビジネスマッチングの支援や調査活動を通じて、県内企業の海外展開を支援するとともに、外国企業との連携を通じて、新しい価値を生み出すビジネス展開を支援する。	
主な事業内容	自動車関連企業海外展開プロジェクト (1,241千円)	○進出意欲を有する企業への専門家によるハンズオン支援等 ○進出済企業の操業環境整備 ○新規展開に向けたビジネス可能性調査
	新しい価値を生み出すビジネス展開支援 (9,942千円)	○シリコンバレーと連携した県内企業のイノベーション促進 ○外国企業との連携支援
	食品・消費財等の販路拡大支援、現地事務所の運営 (45,488千円)	○商談会開催や見本市への出展による販路拡大支援 ○広島・四川経済交流事務所の運営による情報収集や県内企業の海外展開支援
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車産業に関しては、進出後の操業環境に対する企業の不安感が大きく、環境整備に対応する必要がある。 ○食品分野については、今後、現地での販売ルートの獲得による取引量の拡大を図るために、商談機会の更なる創出、企業ニーズに即した事業実施地域を見直し、中国市場への販路拡大・ハラル市場等に対する県内企業への支援の必要がある。 	
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車産業については、メキシコ補習授業校への教員派遣など環境整備による進出企業の側面的支援を実施する。 ○食品産業については、販路拡大に向けた商談会の開催や、バイヤーの招へいを行う。また、上海やハラル地域において商談会等を開催するほか、香港などの地域は他支援機関や民間事業を活用する。 	

③環境浄化産業クラスター形成事業（商工） 54,260千円

目的	市場が拡大する海外（インドネシア、ベトナム等のアジア地域）でのビジネス機会の創出などの支援を行うことで、環境浄化産業の集積、生産規模の拡大を促進する。	
主な事業内容	重点案件の推進（48,245千円）	○ベトナムにおける重点案件の横展開、インドネシアにおけるビジネスマッチングの本格的実施のため、コーディネータによるマンツーマン支援や、現地拡販を狙った現地拠点設置、技術提携への助成等の実施
	重点案件の発掘（5,211千円）	○ベトナムで開催された、Viet Water 2016への出展など、東南アジアへの展示会出展（JETROと連携） ○中国四川省との協定に基づくマッチング
	JICA等との連携（804千円）	○外部資金（JICA等）を活用した、インドネシア国ボゴール市廃棄物処理事業への参入
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○着実に海外展開の取組を行う企業が増加しているものの、未だ本格的な売上拡大につながっておらず、展開フェーズ毎の課題を解決する必要がある。 ○公共事業などの大型プロジェクトの案件化には、現地行政との関係構築やF S調査の実施等時間を要する。 	
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○海外展開を開始したフェーズの企業を重点的に支援することにより、早期に現地体制構築フェーズまで育成し、規模感のある取引を実現させる。 ○インドネシア国ボゴール市を対象に、廃棄物処理をテーマにJICA草の根技術協力事業を実施するとともに、同市との関係を構築しながら、外部資金を活用してプロジェクトの案件化を図り、県内企業の参入を促進する。 ○新たな県内企業の参画等、取組企業の増加を図るため、欧州市場のニーズ調査等を行い、有望市場への展開可能性を検討する。 	

10 観光地ひろしま推進事業【商工・土木】

地域の核となる観光資源のブラッシュアップや、全国に向けたプロモーションの実施など、「ひろしまブランド」・「瀬戸内ブランド」の確立に向けた観光情報発信の強化や、地域の特色を生かした魅力ある観光地づくりに取り組む。

全体事業費：513,348 千円（うち地方創生推進交付金：49,786 千円）

指 標		H28 目標	H28 実績	達成状況
KPI	観光消費額	3,620 億円	4,062 億円	達成
KPI	総観光客数	6,200 万人	6,777 万人	達成
KPI	外国人観光客数	160 万人	201 万人	達成
KPI	クルーズ船の入港回数（1 万トン以上）	33 回	61 回	達成

【構成する県事業（2 件）】

①観光地ひろしま推進事業（商工） 453,060 千円

目的	地域の核となる観光資源の魅力向上と、その魅力を伝える戦略的なプロモーションを連動させることにより、観光客の誘致と周遊を促進し、観光消費額の増加を図る。	
主な事業内容	国内外プロモーション（277,324 千円）	○ガイドブックを中核として「広島の旅の魅力」を全国へ情報発信し、誘客と周遊を促進 ○現地旅行会社と連携した旅行商品造成、広告宣伝 等
	魅力ある観光地づくり（148,413 千円）	○観光資源の価値向上を図り、集客力を高める取組を市町等と推進 ○世界遺産登録 20 周年を契機とした 2 つの世界遺産の魅力向上及び県内への周遊促進
	観光客ニーズに対応した取組（27,323 千円）	○無料 WiFi インフラを活用した周遊促進のための観光情報の発信、利用実態把握・分析の仕組みづくり ○観光客のニーズ、外国人観光客の動向及び趣向調査 ○世界最大級の旅行サイトと連携した情報発信 ○現地旅行事情に精通した人材の配置・活用
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの大規模観光プロモーションの効果等により、総観光客数は増加しており、観光客数の増加に伴い、県内の観光消費額も増大している。しかし、観光消費額単価は平成 25 年からの 3 年間は横ばい傾向が続いており、さらなる観光消費額の増大のためには、観光消費額単価をさらに上昇させる必要がある。 ○ 年間の観光客数は伸びているものの、第 1 ピーク（8 月）の観光客数に比べて、それ以外の期間の観光客数は伸び悩んでおり、年間を通じた誘客につながっていない。 ○ 外国人観光客数は順調に増加してきたが、広島県内での宿泊や周遊滞在につながっていない。 	
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光による地域経済のさらなる活性化に向けて、引き続き観光客数を増加させるとともに、観光プロダクトの開発などにより観光消費額単価を上昇させていく。 ○ 年間を通じた国内観光客数の増加や宿泊につなげるため、特に第 2 ピーク（4・5 月、10・11 月）の季節に応じた広島の魅力・強みの発信や、1 年を通じた誘客につながる観光プロダクトを開発する。 ○ 外国人観光客の県内への誘客・宿泊につなげるため、市場ごとの訪日旅行特性に応じた観光プロダクトの開発と情報発信に取り組む。 	

②瀬戸内クルージング促進事業（土木） 60,288 千円

<p>目的</p>	<p>アジアを中心にクルーズ市場が急成長する中、多くの観光客の訪問につながるクルーズ客船の誘致・受入を積極的に推進し、裾野の広い観光産業の振興を図る。</p>	
<p>主な事業内容</p>	<p>クルーズ客船の誘致・受入 (60,288 千円)</p>	<p>○船社等訪問によるクルーズ客船誘致活動 ○広島港客船誘致・おもてなし委員会を中心として、客船寄港時におもてなし等を実施</p>
<p>課題</p>	<p>○ アジアを中心にクルーズ市場が急成長し、乗客・乗員による観光や買い物による経済効果に着目したクルーズ客船の誘致を巡る港間競争が広がる中において、着実に受入実績を積み重ね、客船寄港の定着化・増加を図る必要がある。</p>	
<p>取組方針</p>	<p>○ 大型クルーズ客船用として供用している五日市埠頭において円滑な受け入れを行うことにより、世界最大級の客船に対応できる優位性を生かしたセールス活動を積極的に展開する。 ○ 寄港地としての魅力を高めるため、「広島港客船誘致・おもてなし委員会」を中心に官民一体となって、おもてなしのより一層の充実に取り組み、広島らしいおもてなしや、観光・買物プランを提案するなど、他港との差別化を図る。</p>	

11 ひろしまブランド推進事業【商工・農林】

(参考)
H29 総合戦略 33 頁, 62 頁

フランスでの日本酒のブランド化や、広島の優れた食材を生かした料理を世界に発信できる料理人の育成などを行うほか、様々な取組について統一感をもって情報発信することにより、ひろしまブランドのイメージの効率的・効果的な浸透を図る。

全体事業費：70,672 千円（うち地方創生推進交付金：27,822 千円）

指 標		H28 目標	H28 実績	達成状況
KPI	日経リサーチ「地域ブランドランキング」	8 位	—※	—
KPI	かき生産金額	168 億円	H29.9 判明 (H27 実績179 億円)	実績未確定

※日経リサーチ「地域ブランドランキング」は調査自体が終了したため、H29 年度から「地域ブランド調査 魅力度ランキング（ブランド総合研究所）全国順位」に指標を変更

【参考】現状（H28）23 位→目標（H31）8 位以内

【構成する県事業（2 件）】

①ひろしまブランド推進事業（商工） 58,083 千円

目的	ひろしまブランドの国内外での認知・評価を高め、魅力ある地域として「選ばれる」ようになることにより、持続的な「地域経済の活性化」につなげ、「地域に対する愛着・誇り」を高めるため、ひろしまブランド構築に向けた県民の共通理解・機運醸成を図り、自発的な活動の拡大を目指す。	
主な事業内容	ブランド価値向上 (食の魅力向上) (34,014 千円)	<ul style="list-style-type: none"> ○フランスにおける広島県産の日本酒のブランド価値向上に向け、現地有力卸売業者との共同プロモーション等による流通チャネルの確立や広島フェアによる日本酒のPRを実施 ○「ひろしまといえばおいしい」というブランドイメージの構築に向けた料理コンクールの開催（料理人の発掘） ○小中学校への出前講座等による食育推進，食材活用
	ひろしまブランドイメージの浸透，情報発信（24,069 千円）	<ul style="list-style-type: none"> ○県民の広島県に対する愛着や自慢，誇りを向上させるため，県民の意見を取り入れた「県民投稿型サイト」を構築
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○日本酒のブランド価値向上については、フランスの酒類卸業者を通すルートが開けたことから、今後はフランスでの販売数量を増やすため、広島産日本酒のブランド確立に向けて酒類卸業者のセールスプロモーションを支援する必要がある。 ○広島県の食の魅力向上については、若手料理人の継続的な人材育成を進めていくとともに、豊かな食体験ができる場づくりなどに取り組む必要がある。 	
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○日本酒のブランド価値向上について、現地卸業者の顧客となる小売店やレストランを対象に試飲会を開催するなど、現地卸業者との共同プロモーションを行うとともに、現地販売代理人やブランドツールの活用による継続的な営業活動等に取り組む。 ○食の魅力向上については、食に関わる一流料理人を発掘・育成するための料理コンクールを実施し、また、県内の食関係者とともに、県産食材などを活用した、ひろしまの食体験イベントを実施し、ひろしまの食の魅力をPRする。 	

② 広島かき安定供給システム構築事業（農林） 12,589 千円

<p>目的</p>	<p>生食用殻付きかきの安定的な生産・出荷のため、閉鎖海域における生産管理技術や、夏場以降の三倍体生食用殻付きかきの安全性向上のための浄化技術の開発等を支援する。</p>	
<p>主な事業内容</p>	<p>生食用殻付きかき養殖技術の開発 (7,589 千円)</p>	<p>○閉鎖海域における工程管理技術の開発 ・安全性が高く、身減りしない殻付きかきの生産管理技術の開発 ○殻付きかき安全性向上の技術開発 ・夏期を通じて衛生管理基準を満たす、生食用殻付きかきの浄化技術の開発</p>
	<p>三倍体種苗生産システムの改良 (5,000 千円)</p>	<p>○種苗生産技術改良試験 ・三倍体かき種苗を効率的に生産するための技術開発</p>
<p>課題</p>	<p>○ 需要拡大が見込まれる首都圏のオイスターバー等に対し、生食用殻付きかきを安定的に販売するため、ノロウイルスなどのリスク軽減を含めた衛生管理体制を強化する必要がある。 ○ 三倍体かきの夏期生食出荷の取組を進めていく上で、三倍体かき種苗生産を安定化させる必要がある。</p>	
<p>取組方針</p>	<p>○ 閉鎖海域における工程管理技術や夏期を通じて衛生管理基準を満たす生食用殻付きかき浄化技術の開発により、生食用殻付きかきの安定的な生産体制を構築する。 ○ 小型水槽を活用した三倍体かきの種苗生産技術の開発により、三倍体かき種苗の安定的な生産体制を構築する。</p>	